

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

2023 年報告書

(1997 年 8 月 ～ 2023 年 3 月 31 日)

2023 年 12 月

HRD共同調査協議会

ヴィーブヘルスケア株式会社

MSD株式会社

ギリアド・サイエンシズ株式会社

ヤンセンファーマ株式会社

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

2023 年報告書

(1997 年 8 月 ～ 2023 年 3 月 31 日)

HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)共同使用成績調査(以下、本調査)へご協力頂きありがとうございました。

本調査にて収集された当該薬剤の有効性・安全性についての情報を医療の現場にフィードバックするため、2023 年(1997 年 8 月～2023 年 3 月 31 日)までの結果をまとめた小冊子を作成いたしました。

1. 調査方法

本調査は、契約時に投薬中、あるいは調査期間中に投薬を開始した症例について登録頂き、患者背景、薬剤の投与状況、併用療法、患者の転帰、有害事象(副作用、臨床検査値の異常変動、有害事象と疾患や薬剤との関連性、臨床経過に関するコメント)、血漿中 HIV-RNA コピー数、CD4 数の推移をはじめとする臨床経過及び臨床検査値の推移等の項目について 1997 年 8 月から 2023 年 3 月 31 日の期間を継続的に調査した。

2. 調査対象症例

本調査は、調査にご協力頂いた施設(2000 年 4 月 1 日より特定施設約 30 施設)において、下記再審査品目の HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)が処方される全ての症例を対象とした。併用された HIV 感染症治療薬に関しては、治験期間も含め全ての投与期間を調査対象とした。

本調査の解析は、2023 年 8 月 10 日までに調査票を回収し、かつ情報提供の承諾を頂いている症例(10,738 例)を対象とした。

3. 調査対象薬剤

HIV 感染症治療薬の共同使用成績調査に合意している会社の薬剤

(2023 年 3 月現在再審査期間中の市販薬剤)

医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
スタビル [®] 配合錠	エルビテグラビル/コビスタット/エムトリシタビン / テノホビル シ [®] ソフ [®] ロキシルフマル酸塩 (EVG/COBI/FTC/TDF)	2013 年 3 月～2023 年 3 月
デビケイ錠 50mg	ドルテグラビル(DTG)	2014 年 3 月～2024 年 3 月
トリメク配合錠	ドルテグラビル/アバカビル流酸塩/ラミブジン (DTG/ABC/3TC)	2015 年 3 月～2024 年 3 月
ケンボイヤ配合錠	エルビテグラビル/コビスタット/エムトリシタビン/ テノホビル アラフェナミド [®] フマル酸塩 (EVG/COBI/FTC/TAF)	2016 年 6 月～2026 年 6 月
プレジコビックス配合錠	ダルナビル エタノール付加物/コビスタット (DRV/COBI)	2016 年 11 月～2023 年 3 月
デシコビ [®] 配合錠 LT	エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミド [®] フマル酸	2016 年 12 月～2026 年 6 月
デシコビ [®] 配合錠 HT	塩(FTC/TAF)	
アイセントレス錠 600mg	ラルテグラビル(RAL)	2018 年 5 月～2024 年 5 月
オデフシ [®] 配合錠	リルピヒリン塩酸塩/テノホビル アラフェナミド [®] フマ ル酸塩/エムトリシタビン(RPV/TAF/FTC)	2018 年 8 月～2026 年 6 月
ジャルカ配合錠	ドルテグラビルナトリウム/リルピヒリン塩酸塩 (DTG/RPV)	2018 年 11 月～2024 年 11 月
ビクタ [®] 配合錠	ビクテグラビルナトリウム/エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミド [®] フマル酸塩(BIC/FTC/ TAF)	2019 年 3 月～2029 年 3 月

シムツァ配合錠	ダルナビル/コビススタット/エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミドフマル酸塩	2019 年 6 月～2026 年 6 月
トウヘイト配合錠	トルテグラビルナトリウム/ラミブジン	2020 年 1 月～2026 年 1 月
ヒフェルトロ錠 100mg	トラヒリン	2020 年 1 月～2030 年 1 月
ホカブリア錠 30mg,水懸筋注 400mg,600mg	カボテグラビルナトリウム, カボテグラビル (CAB)	2022 年 5 月～2032 年 5 月
リカムビス水懸筋注 600 mg,900 mg	リルビリン (RPV)	2022 年 5 月～2032 年 5 月

(参考:2023 年 3 月現在再審査期間が終了している薬剤)

医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
エピビル錠 150, 300	ラミブジン (3TC)	1997 年 2 月～2007 年 2 月
コンビビル配合錠	ジトブジン (AZT)・ラミブジン (3TC)	1999 年 6 月～2007 年 2 月
クリキシハンカプセル※ ¹	インジナビル硫酸塩 (IDV)	1997 年 3 月～2007 年 3 月
点滴静注用ホスカビル	ホスカネットナトリウム水和物	1997 年 3 月～2007 年 3 月
セリットカプセル※ ¹	サニルブジン (d4T)	1997 年 7 月～2007 年 7 月
テノシンカプセル※ ¹	ガンシクロビル	1997 年 7 月～2007 年 7 月
インビラーセカプセル※ ¹	サキナビルメシル酸塩 (SQV-HGC)	1997 年 9 月～2007 年 9 月
ノービア内用液・ソフトカプセル※ ¹	リトナビル (RTV)	1997 年 11 月～2007 年 11 月
ビラセプト錠 250mg	ネルフィナビルメシル酸塩 (NFV)	1998 年 3 月～2008 年 3 月
クラリス錠・トライシロップ	クラリスロマイシン (CAM)	1998 年 9 月～2008 年 9 月
クラリシッド錠・トライシロップ	クラリスロマイシン (CAM)	1998 年 9 月～2008 年 9 月
ビラミューン錠	ネビラピン (NVP)	1998 年 11 月～2008 年 11 月
サイアジェン錠	アバカビル硫酸塩 (ABC)	1999 年 9 月～2009 年 9 月
ストックリン錠 200mg, 600mg	エファビレンツ (EFV)	1999 年 9 月～2009 年 9 月
カレトラ配合錠・配合内用液	ロピナビル (LPV)・リトナビル (RTV)	2000 年 12 月～2010 年 12 月
エプゾコム配合錠	ラミブジン (3TC)・アバカビル硫酸塩 (ABC)	2004 年 12 月～2010 年 12 月
ジスロマック錠 600mg	アジスロマイシン	2001 年 12 月～2011 年 12 月
カレトラ配合錠	ロピナビル (LPV)・リトナビル (RTV)	2011 年 4 月～2013 年 3 月※ ²
レイアタツツカプセル 150mg,200mg	アタサナビル硫酸塩 (ATV)	2003 年 12 月～2013 年 12 月
ビリアート錠 300mg	テノホビル シソプロキシルフマル酸塩 (TDF)	2004 年 3 月～2014 年 3 月
バリキサ錠 450mg	バルガンシクロビル塩酸塩	2004 年 11 月～2014 年 11 月
レクシヴァ錠 700	ホスアンブレナビルカルシウム水和物 (fAPV)	2004 年 12 月～2014 年 12 月
エムトリバカプセル 200mg	エムトリシタビン (FTC)	2005 年 3 月～2015 年 3 月
ツルバダ配合錠	エムトリシタビン・テノホビル シソプロキシルフマル酸塩 (FTC/TDF)	2005 年 3 月～2015 年 3 月
プリシスタ錠 300mg※ ¹	ダルナビル (DRV)	2007 年 11 月～2017 年 11 月
プリシスタ錠 600mg	ダルナビル (DRV)	2014 年 12 月～2017 年 11 月
プリシスタナイーブ錠 400mg※ ¹	ダルナビル (DRV)	2009 年 8 月～2017 年 11 月
プリシスタナイーブ錠 800mg	ダルナビル (DRV)	2013 年 7 月～2017 年 11 月
アイセントレス錠 400mg	ラルテグラビル (RAL)	2008 年 6 月～2018 年 6 月
ミコブティンカプセル 150mg	リファブチン	2008 年 7 月～2018 年 7 月
インテレンス錠 100mg	エトラビル (ETR)	2008 年 12 月～2018 年 12 月
シーエルセントリ錠 150mg	マラビロク (MVC)	2008 年 12 月～2018 年 12 月

サムチレル内用懸濁液 15% アトパコン 2012 年 1 月～2020 年 1 月

コムプレラ配合錠^{※1} リルピビリン/テノホビル・シソプロキシルフマル酸塩 2014 年 11 月～2022 年 5 月
/エムトリシタビン (RPV/TDF/FTC)

エシデュラント錠 25mg リルピビリン (RPV) 2012 年 5 月～2022 年 5 月

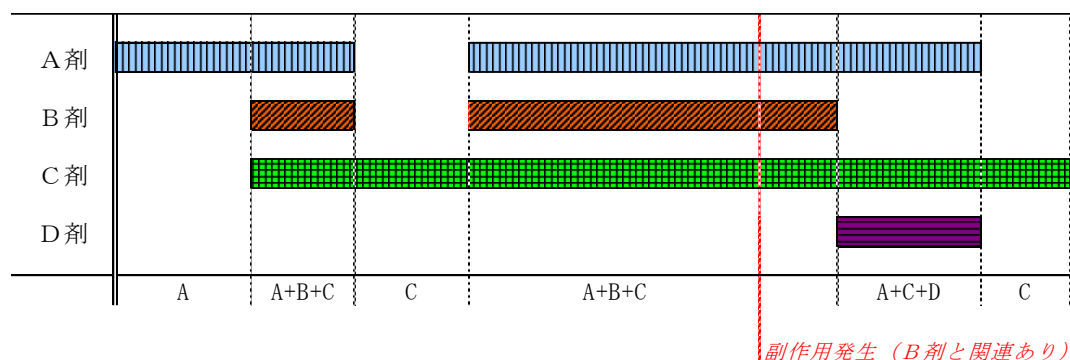
※1: クリキシハンカプセル・セリットカプセル・デノシンカプセル・インビラーゼカプセル・ノービアソフトカプセル・プリジスタ錠 300mg・
プリジスタナイーブ錠 400mg・コムプレラ配合錠は現在、販売されていません。

※2: カレトラ配合錠の用法追加(1 日 1 回)は、再審査対象ではないため調査期間を示しております。

4. 併用期間と副作用発現症例数の考え方

本調査の併用期間と副作用発現症例数の考え方を図1に示す。

図 1. 併用期間と副作用発現症例数の考え方



上図においての組合せ

	併用期間	副作用発現 症例数	副作用発現 症例数
A	→	1例	無
C	→	1例	無
C	→	1例	無
A+B+C	→	1例	無
A+B+C	→	1例	1例
A+C+D	→	1例	無

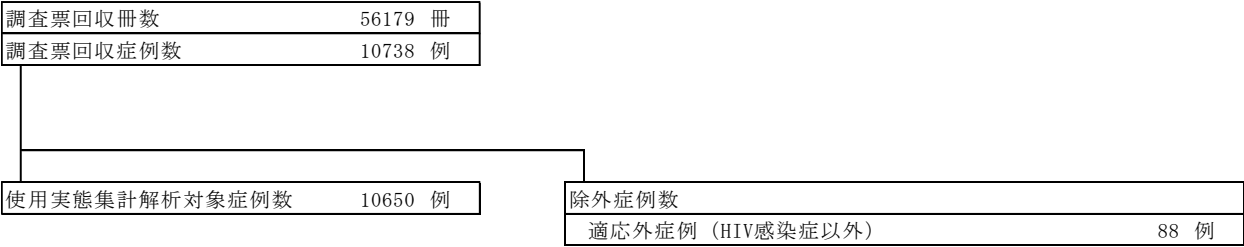
併用期間 → 初回併用開始日
→ 併用開始日

5. 解析結果

5.1 使用実態集計解析対象症例

使用実態集計解析は、2023 年 8 月 10 日までに調査票を回収し、かつ情報提供の承諾を頂いている症例(10,738 例)のうち、適応外の症例 (HIV 感染症以外の 88 例)を除外した症例 (未固定症例含む) (10,650 例)を対象とした(表 1)。

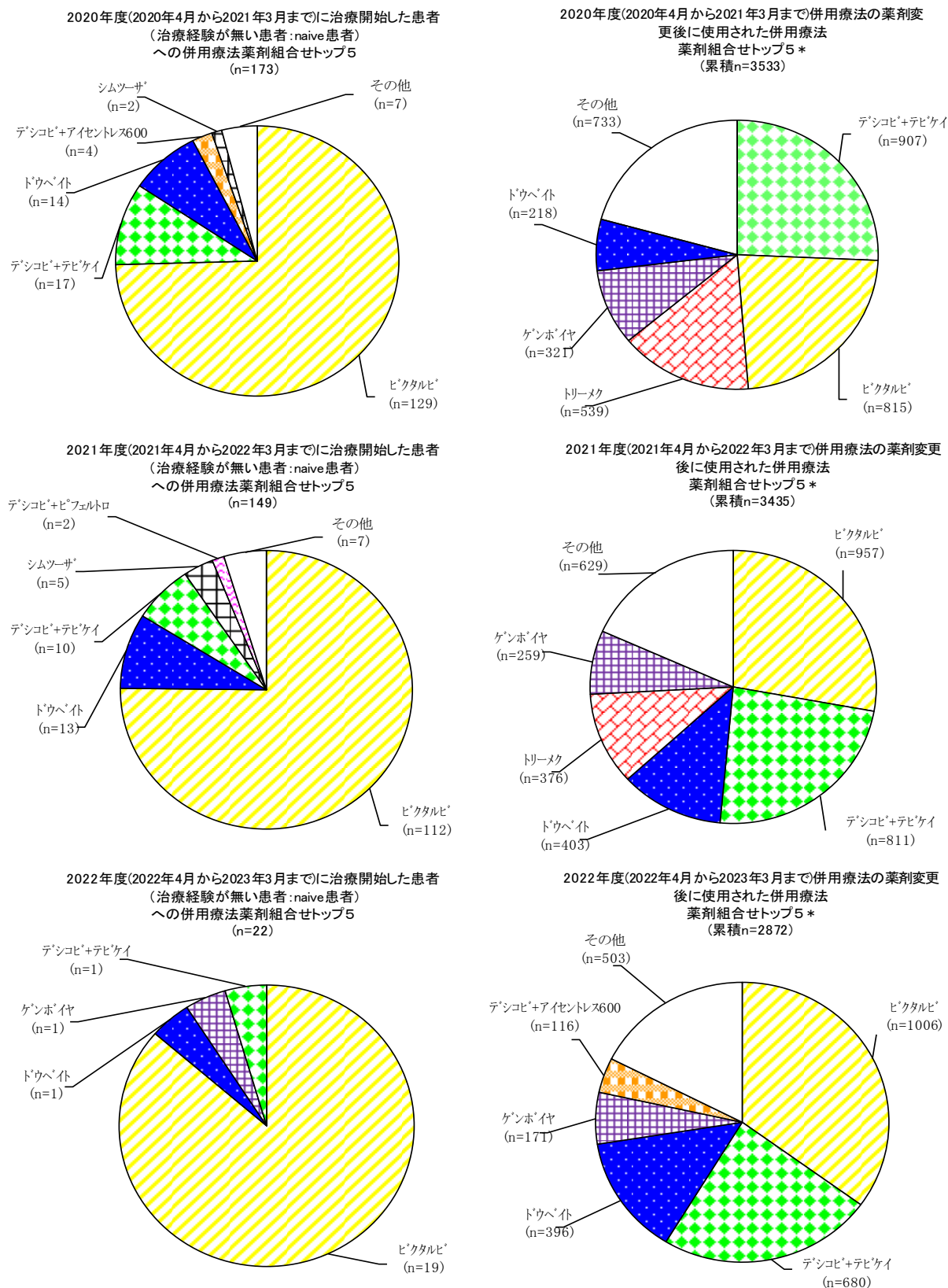
表 1.症例構成図(使用実態集計解析対象症例)



次に、HIV 感染症治療薬の使用実態の把握を目的に、使用された薬剤の組合せの延べ症例数 (薬剤の切り替えが行われた場合、別症例として集計) 及び平均併用日数の集計を行った。その結果、調査開始から 2023 年までの全期間を表 2-1-1、2022～2023 年の期間を表 2-2-1 に示す。また、2020 年度から 2022 年度に使用された調査対象症例における併用療法の種類 (薬剤組合せ) を図 2 に示す。

2022～2023 年の使用頻度が最も高かった薬剤の組合せは、ビクトルビ単剤の組合せであった。近年承認された薬剤や再審査期間が満了し調査対象外となった薬剤があるため、2023 年までの全調査期間と 2022～2023 年の調査期間において、使用実態 (薬剤組合せ) の構成に差異が認められた。

図 2. 2020 年度から 2022 年度に使用された調査対象症例における併用療法の種類(薬剤組合せ)



※必ずしも現在の治療ガイドライン等で推奨される併用療法薬剤組合せと一致しているわけではありません。
治療開始にあたっては、最新のガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

○ 本調査結果は、本邦におけるエイズ診療の中核となる医療機関での2020年度から2022年度までの調査対象症例における多剤併用療法の使用実態抜粋である。

* 併用された薬剤1剤でも変更されれば「変更」とカウントし、
年度内に2度、3度変更されれば、重複カウントした。

さらに、直近 1 年間の登録患者の年齢を表 3 に示す。40 代が最も多かった。

表 3. 直近 1 年間の登録患者の年齢

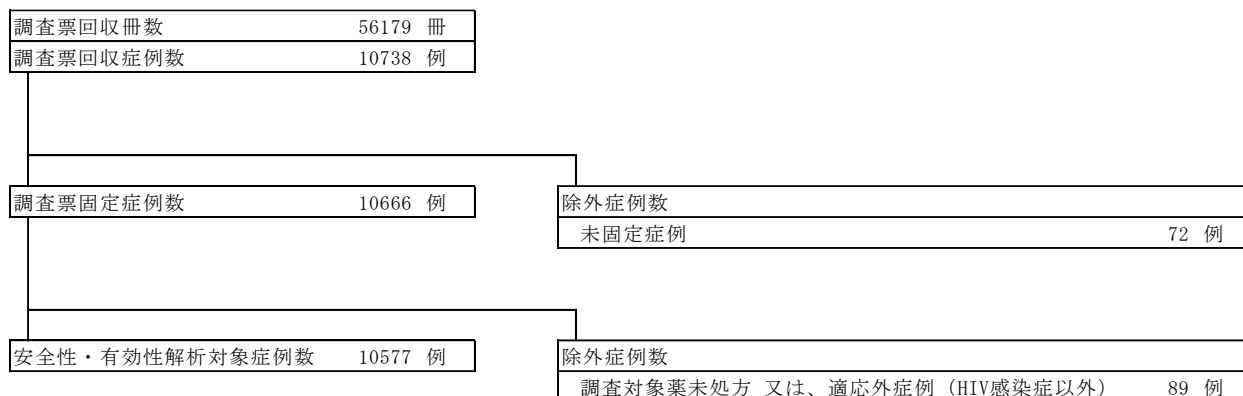
患者背景		症例数	割合(%)
計		2670	100.00
年齢 *	≤14歳	0	0.00
	15歳 ≤ ≤64歳	2456	91.99
	65歳 ≤	214	8.01
年齢 *	≤9歳	0	0.00
	10歳 ≤ ≤19歳	1	0.04
	20歳 ≤ ≤29歳	205	7.68
	30歳 ≤ ≤39歳	632	23.67
	40歳 ≤ ≤49歳	871	32.62
	50歳 ≤ ≤59歳	622	23.30
	60歳 ≤ ≤69歳	217	8.13
	70歳 ≤	122	4.57
	平均値	45.8	－
	標準偏差	12.2	－
	最小値	17	－
	第一四分位数	37.0	－
	中央値	46.0	－
	第三四分位数	53.0	－
	最大値	90	－

* :2022年4月1日時点

5.2 安全性・有効性解析対象症例

安全性・有効性解析は、2023 年 8 月 10 日までに調査票を回収・固定し、かつ情報提供の承諾を頂いている症例(10,666 例)のうち、適応外症例(HIV 感染症以外)を除外し、調査対象の抗 HIV 薬が使用された症例(10,577 例)を対象とした。なお、適応外症例(HIV 感染症以外)又は、調査対象の抗 HIV 薬が使用されていない症例は 89 例であった(表 4)。

表 4. 症例構成図 (安全性・有効性解析対象症例)



患者背景、治療開始時期別の症例数と治療期間の要約統計量、生存・死亡者内訳、治療開始時期別の死亡者と死亡理由内訳をそれぞれ表 5、5a、5b、5c に示す。

表 5 患者背景

患者背景		症例数	割合(%)
計		10577	100.00
性別	男	9851	93.14
	女	726	6.86
年齢 *	≤14歳	37	0.35
	15歳≤ ≤64歳	10233	96.75
	65歳≤	307	2.90
人種	日本人	9826	92.90
	その他	750	7.09
	不明・未記載	1	0.01
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	3065	28.98
	有	7512	71.02
合併症有無	無	3327	31.46
	有	7119	67.31
	不明・未記載	131	1.24
合併症腎障害	無	9962	94.19
	有	484	4.58
	不明・未記載	131	1.24
合併症肝障害	無	8080	76.39
	有	2366	22.37
	肝炎	1626	15.37
	不明・未記載	131	1.24
血友病	無	9753	92.21
	有	693	6.55
	A	535	5.06
	B	157	1.48
	不明・未記載	1	0.01
	不明・未記載	131	1.24
既往歴有無	無	4892	46.25
	有	4660	44.06
	不明・未記載	1025	9.69
アレルギーの有無	無	7446	70.40
	有	2353	22.25
	不明・未記載	778	7.36

表 5a 治療開始時期別の症例数と治療期間の要約統計量

治療期間 [日](年)	治療開始時期			
	～ 2000年3月	2000年4月 ～ 2010年3月	2010年4月 ～	計
症例数 *	1900	3605	5062	10567
平均値	2587.8(7.1)	2164.6(5.9)	1756.0(4.8)	2044.9(5.6)
標準偏差	2102.9(5.8)	1470.7(4.0)	1046.0(2.9)	1467.8(4.0)
最小値	4(0.0)	2(0.0)	4(0.0)	2(0.0)
第一四分位数	800.5(2.2)	1241.0(3.4)	959.0(2.6)	1020.0(2.8)
中央値	2388.5(6.5)	1860.0(5.1)	1782.0(4.9)	1826.0(5.0)
第三四分位数	3640.5(10.0)	2728.0(7.5)	2311.0(6.3)	2724.0(7.5)
最大値	10398(28.5)	8356(22.9)	4788(13.1)	10398(28.5)

* :10症例(～2000年3月;3症例、2000年4月～2010年3月;1症例、2010年4月～;6症例)については、2023年8月10日時点で、1年次～2019年度の調査票の1分冊のみ固定されているため治療期間の推定はできず、本表に含まない。

表 5b 生存・死亡者内訳

	AIDS患者 (投与後AIDS発症) *	HIV感染者	計
計	3041 (91)	7536	10577
生存者	2810 (72)	7381	10191
死亡者	231 (19)	155	386

*:()内はAIDS患者のうち、抗HIV薬の投与開始後にAIDSを発症した患者数を示す。

表 5c について、治療開始時期別の死亡者数は減少傾向が見られた。AIDS 関連疾患は、CDC 分類のカテゴリーC に該当するコードを参考に集計した。

表 5c.治療開始時期別の死亡者と死亡理由内訳

治療開始時期	解析対象症例数	死亡者数 (比率%)*1)	死亡理由(割合%)*2)		
			AIDS関連疾患	その他	不明
全期間(1997年8月～2023年3月)	10577	386 (3.65)	98 (25.39)	269 (69.69)	19 (4.92)
2001年3月以前	1900	175 (9.21)	38 (21.71)	119 (68.00)	18 (10.29)
2001年4月から2010年3月	3605	148 (4.11)	42 (28.38)	105 (70.95)	1 (0.68)
2010年4月以降	5062	62 (1.22)	18 (29.03)	44 (70.97)	0 (0.00)
不明	10	1 (10.00)	0 (0.00)	1 (100.00)	0 (0.00)

*1:治療開始時期毎の解析対象症例数を分母とした。

*2:治療開始時期毎の死亡者数を分母とした。

次に、5.1 の使用実態調査 2022～2023 年の期間の使用実態表(表 2-2-1)において使用頻度の高い上位 10 組の組合せ及び上位 10 組に含まれなかった薬剤のうち選抜した組合せ 4 組(組合せ No.13、No.15、No.24 及び No.16(2023 年までの全期間))を特定した(表 5d)。

表 5d. 2022～2023 年の期間の使用実態表(表 2-2-1)において使用頻度の高い上位 10 組の組合せ及び上位 10 組に含まれなかった薬剤のうち選抜した組合せ 4 組

組合No.1	ビクタルビ単剤例
組合No.2	デシコビ+テビケイ併用例
組合No.3	ドウベイト単剤例
組合No.4	ゲンボイヤ単剤例
組合No.5	デシコビ+アイセントレス 600 併用例
組合No.6	トリーメク単剤例
組合No.7	シムツーザ単剤例
組合No.8	オデフシイ単剤例
組合No.9	デシコビ+ピフェルトロ併用例
組合No.10	エジュラント+ボカブリア併用例
組合No.13	リカムビス+ボカブリア併用例
組合No.15	ジャルカ単剤例
組合No.24	デシコビ+プレジコビックス+アイセントレス 600 併用例
組合No.16	スタリビルド単剤例

表 5d.の組み合わせにおいて、副作用の発現状況及び安全性に影響を与えると考えられる要因[性別、年齢、人種、抗 HIV 薬以外の併用薬有無、合併症有無、合併症腎障害、合併症肝障害(含む肝炎)、血友

病(含む血友病分類)、既往歴有無、アレルギーの有無]について、集計解析を行った(表 6～33)。また、薬剤別の副作用及び重篤な副作用の発現状況の一覧を掲載した(表 34～35)。なお、副作用用語については ICH 国際医薬用語集日本語版 (MedDRA/J Ver26.0) の基本語 (Preferred term : PT) にて集計解析を行った。

集計解析を行った 14 組の組合せの内、組合せによっては患者背景のいくつかの要因について副作用発現症例率に有意差が認められた。有意差が認められた要因は、年齢、人種、抗 HIV 薬以外の併用薬有無、合併症有無、合併症腎障害、合併症肝障害、既往歴有無及び、アレルギーの有無であったが、交絡因子が多く原因については不明であった。

さらに、表 5d. の組合せ毎の血漿中 HIV-RNA コピー数、CD4 陽性リンパ球数の推移についてグラフを作成した(図 3～16)。血漿中 HIV-RNA コピー数については、多くの組合せにおいて、投与初期に減少が観られ、その後低値を維持していることが確認された。CD4 陽性リンパ球数については、各組合せで、治療経験が無い患者 (naïve)、及び治療経験が有る患者 (experienced) の何れの群においても投与期間内において維持または増加の傾向を示した。

図表説明

図表番号	図表名		解析対象症例
表 2-1.	抗 HIV 薬 使用実態表	(投与期間:1997 年 8 月～2023 年 3 月 31 日)	使用実態集計解析対象症例
表 2-2.	抗 HIV 薬 使用実態表	(投与期間:2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)	使用実態集計解析対象症例
表 5	患者背景		安全性・有効性解析対象症例
表 5a	治療開始時期別の症例数と治療期間の要約統計量		安全性・有効性解析対象症例
表 5b	生存・死亡者内訳		安全性・有効性解析対象症例
表 5c	治療開始時期別の死亡者と死亡理由内訳		安全性・有効性解析対象症例
表 5d	2022～2023 年の期間の使用実態表(表 2-2-1)において使用頻度の高い上位 10 組の組合せ及び上位 10 組に含まれなかった薬剤のうち選抜した組合せ 4 組		—
表 6	組合No.1 ビクトルビ単剤例	患者背景別副作用発現症例割合	安全性・有効性解析対象症例
表 7	組合No.1 ビクトルビ単剤例	副作用発現状況	安全性・有効性解析対象症例
表 8	組合No.2 デシコピ+テビケイ併用例	患者背景別副作用発現症例割合	安全性・有効性解析対象症例
表 9	組合No.2 デシコピ+テビケイ併用例	副作用発現状況	安全性・有効性解析対象症例
表 10	組合No.3 ドウベイト単剤例	患者背景別副作用発現症例割合	安全性・有効性解析対象症例
表 11	組合No.3 ドウベイト単剤例	副作用発現状況	安全性・有効性解析対象症例
表 12	組合No.4 ゲンボイヤ単剤例	患者背景別副作用発現症例割合	安全性・有効性解析対象症例
表 13	組合No.4 ゲンボイヤ単剤例	副作用発現状況	安全性・有効性解析対象症例
表 14	組合No.5 デシコピ+アイセントレス 600 併用例	患者背景別副作用発現症例割合	安全性・有効性解析対象症例
表 15	組合No.5 デシコピ+アイセントレス 600 併用例	副作用発現状況	安全性・有効性解析対象症例
表 16	組合No.6 トリーメク単剤例	患者背景別副作用発現症例割合	安全性・有効性解析対象症例
表 17	組合No.6 トリーメク単剤例	副作用発現状況	安全性・有効性解析対象症例
表 18	組合No.7 シムツーザ単剤例	患者背景別副作用発現症例割合	安全性・有効性解析対象症例
表 19	組合No.7 シムツーザ単剤例	副作用発現状況	安全性・有効性解析対象症例
表 20	組合No.8 オデフシ単剤例	患者背景別副作用発現症例割合	安全性・有効性解析対象症例
表 21	組合No.8 オデフシ単剤例	副作用発現状況	安全性・有効性解析対象症例
表 22	組合No.9 デシコピ+ピフェルトロ併用例	患者背景別副作用発現症例割合	安全性・有効性解析対象症例
表 23	組合No.9 デシコピ+ピフェルトロ併用例	副作用発現状況	安全性・有効性解析対象症例
表 24	組合No.10 エジュラント+ボカブリア併用例	患者背景別副作用発現症例割合	安全性・有効性解析対象症例
表 25	組合No.10 エジュラント+ボカブリア併用例	副作用発現状況	安全性・有効性解析対象症例
表 26	組合No.13 リカムビス+ボカブリア併用例	患者背景別副作用発現症例割合	安全性・有効性解析対象症例
表 27	組合No.13 リカムビス+ボカブリア併用例	副作用発現状況	安全性・有効性解析対象症例
表 28	組合No.15 ジャルカ単剤例	患者背景別副作用発現症例割合	安全性・有効性解析対象症例
表 29	組合No.15 ジャルカ単剤例	副作用発現状況	安全性・有効性解析対象症例
表 30	組合No.24 デシコピ+プレジコビックス+アイセントレス 600 併用例	患者背景別副作用発現症例割合	安全性・有効性解析対象症例
表 31	組合No.24 デシコピ+プレジコビックス+アイセントレス 600 併用例	副作用発現状況	安全性・有効性解析対象症例
表 32	組合No.16 スタビルド単剤例	患者背景別副作用発現症例割合	安全性・有効性解析対象症例
表 33	組合No.16 スタビルド単剤例	副作用発現状況	安全性・有効性解析対象症例
表 34	抗 HIV 薬別 副作用・感染症の発現状況一覧表		安全性・有効性解析対象症例
表 35	抗 HIV 薬別 重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表		安全性・有効性解析対象症例
図 3～16	組合せ別(平均値)グラフ、薬剤名 分類		安全性・有効性解析対象症例

図 3～16 に関する備考

- 各評価時期のデータは、投与開始時点(0 か月)は投与開始日－90 日以内、投与後月数は投与 3 か月毎に前後±30 日以内の検査値を採用範囲とした。
データ採用範囲内に観察あるいは測定が複数回実施されていた場合は、規定日に近い日付のデータを採用し、測定日が規定日前後で同じ日数の場合は、規定日より前のデータを採用した。
- HIV-RNA コピー数、CD4 について、値を治療経験が無い患者 (naïve)、及び治療経験が有る患者 (experienced) の 2 層に分けて平均値・標準偏差を求めた。
 - 「治療経験が無い患者 (naïve)」とは、本調査開始時に初めて抗 HIV 薬が投与された患者を示し、最初の抗 HIV 薬剤組合せの投与開始日から薬剤が変更または中止されるまでの区間について集計した。
 - 「治療経験が有る患者 (experienced)」とは、本調査開始時に既に抗 HIV 薬が投与されていた患者を示し、最初の抗 HIV 薬剤組合せの投与開始日から薬剤が変更または中止されるまでの区間、及び治療経験が無い患者の区間の次区間、即ち 2 番目の抗 HIV 薬剤組合せの投与開始日から薬剤が変更または中止されるまでの区間について集計した。
 - ただし、治療経験が無い患者は、治療歴が明確に把握できないため等の理由で必ずしも正確ではない症例も含まれる。

投与期間：調査開始～2023年3月31日

12

投与期間：調査開始～2023年3月31日

[illegible]

投与期間：調査開始～2023年3月31日

14

投与期間：調査開始～2023年3月31日

15

投与期間：調査開始～2023年3月31日

16

投与期間：調査開始～2023年3月31日

17

投与期間：調査開始～2023年3月31日

18

投与期間：調査開始～2023年3月31日

[illegible]

投与期間：調査開始～2023年3月31日

20

投与期間：調査開始～2023年3月31日

21

投与期間：調査開始～2023年3月31日

22

投与期間：調査開始～2023年3月31日

23

投与期間：調査開始～2023年3月31日

24

表2-1-1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～2023年3月31日

組合 No.	症 例 数	核酸系逆転写酵素阻害剤												非核酸系 逆転写酵素阻害剤										プロテアーゼ阻害剤												インテグラーゼ阻害剤			CCR5阻害 剤	核酸系逆転写酵素阻害剤、インテグラーゼ阻害剤					核酸系逆転写酵素阻害剤、非核酸系逆転写酵素阻害剤	非核酸系逆転写酵素阻害剤、インテグラーゼ阻害剤	核酸系逆転写酵素阻害剤	年齢	平均 日数	最小 日数	最大 日数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		レトロビル	グアイデックス	ヘビッド	エビビル	ゼリット	コンビビル	グアイシン	ビリアード	エプソム	エムトリバ	アムネビ	デシコビ	ビラミューン	ストックリ	レスカリプター	インテナス	エシラント	ビフェルトロ	リカムビス	クリキシバン	インビラーゼ	ノービア	ビラセプト	アローゼ	フォーレイビス	カレトラ	レイタックツ	レタングア	アリシスタ	アリシスタナイーブ	アリシコビックス	アイセントレス400	デビケイ	アイセントレス600	ボカリア	シーエスセントリ	スクリールド	トラーマタ	ケンボイヤ	ビタカルビ	トリウヘイト	コムフレラ	オデアソイ	シナルカ	シムワーザ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
1041	1		■		■									■																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

※:計の日数は患者全体の投与日数を示した。
注1:調査票に上記薬剤の治療中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。
注2:1日併用に関しては除外した。
注3:使用実態表(表2-2-1)において上位10組に含まなかった薬剤のうち選択した組合せを青■で表示した。

投与期間:2022年4月1日～2023年3月31日

※：計の日は患者全体の投与日数を示した。

注1：調査票に上記薬剤の投与中（承認前）の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2：1日併用に関しては除外した。

注3：使用頻度の高い上位10組の組合せ及び上位10組に含まなかった薬剤のうち選抜した組合せについて、青●で表示した。

表6. 組合No.1

ビクトルビ単剤例の
患者背景別副作用発現割合

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 割合(%)	解析結果 (Fisher)
計		1217	145	307	11.91%	
性別	男	1170	141	299	12.05%	P=0.646
	女	47	4	8	8.51%	
年齢	≤14歳	0			–	P=0.195
	15歳 ≤ ≤64歳	1144	140	301	12.24%	
	65歳 ≤	73	5	6	6.85%	
人種	日本人	1152	134	282	11.63%	P=0.234
	その他	65	11	25	16.92%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	597	30	37	5.03%	P=0.000 **
	有	620	115	270	18.55%	
合併症有無	無	395	30	44	7.59%	P=0.001 **
	有	766	107	240	13.97%	
	不明・未記載	56	8	23	14.29%	
合併症腎障害	無	1087	128	262	11.78%	P=0.853
	有	74	9	22	12.16%	
	不明・未記載	56	8	23	14.29%	
合併症肝障害	無	928	106	229	11.42%	P=0.427
	有	233	31	55	13.30%	
	肝炎	123	16	30	13.01%	–
	不明・未記載	56	8	23	14.29%	
血友病	無	1152	136	282	11.81%	P=1.000
	有	9	1	2	11.11%	
	A	8	1	2	12.50%	P=1.000
	B	1			0.00%	
	不明・未記載	56	8	23	14.29%	
既往歴有無	無	645	54	109	8.37%	P=0.047 *
	有	364	45	64	12.36%	
	不明・未記載	208	46	134	22.12%	
アレルギーの有無	無	926	124	282	13.39%	P=0.020 *
	有	240	19	23	7.92%	
	不明・未記載	51	2	2	3.92%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギーの内容は特に限定せず集計した。

表7. 組合No.1

ビクトルビ単剤例の
副作用発現状況

調査施設数	24
調査症例数	1217
副作用等の発現症例数	145 (11.91%)
副作用等の発現件数	307
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	43 (3.53)
肛門クラミジア感染	1 (0.08)
虫垂炎	1 (0.08)
カンジダ性龟头炎	1 (0.08)
爪の皮膚糸状菌症	1 (0.08)
ヘルペス性状湿疹	1 (0.08)
毛包炎	1 (0.08)
陰部ヘルペス	3 (0.25)
B型肝炎	1 (0.08)
C型肝炎	3 (0.25)
単純ヘルペス	4 (0.33)
ヘルペスウイルス感染	1 (0.08)
帯状疱疹	5 (0.41)
膿痂疹	2 (0.16)
インフルエンザ	1 (0.08)
乳腺炎	1 (0.08)
口腔カンジダ症	1 (0.08)
膿皮症	1 (0.08)
鼻炎	3 (0.25)
副鼻腔炎	1 (0.08)
足部白癬	1 (0.08)
扁桃炎	1 (0.08)
クラミジア性尿道炎	2 (0.16)
ウレアプラズマ性尿道炎	1 (0.08)
肛門膿瘍	1 (0.08)
四肢膿瘍	1 (0.08)
皮膚カンジダ	1 (0.08)
白癬感染	2 (0.16)
梅毒	13 (1.07)
肝アメーバ症	1 (0.08)
口腔ヘルペス	2 (0.16)
COVID-19	9 (0.74)
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびポリープを含む)	7 (0.58)
バーキットリンパ腫	1 (0.08)
肛門性器疣贅	5 (0.41)
舌新生物	1 (0.08)
血液およびリンパ系障害	1 (0.08)
リンパ節症	1 (0.08)
免疫系障害	6 (0.49)
季節性アレルギー	5 (0.41)
免疫再構築炎症反応症候群	1 (0.08)
代謝および栄養障害	26 (2.14)
糖尿病	4 (0.33)
痛風	2 (0.16)
高コレステロール血症	1 (0.08)
高トリグリセリド血症	1 (0.08)
高尿酸血症	8 (0.66)
食欲亢進	1 (0.08)
肥満	1 (0.08)
脂質異常症	4 (0.33)
食欲減退	1 (0.08)
高脂血症	5 (0.41)
中心性肥満	1 (0.08)
精神障害	20 (1.64)
異常な夢	1 (0.08)
うつ病	4 (0.33)
不眠症	14 (1.15)
悪夢	2 (0.16)
睡眠障害	1 (0.08)
神経系障害	9 (0.74)
浮動性めまい	1 (0.08)
頭痛	6 (0.49)
末梢性ニューロパチー	1 (0.08)
傾眠	1 (0.08)
耳および迷路障害	1 (0.08)
回転性めまい	1 (0.08)
血管障害	3 (0.25)
高血圧	3 (0.25)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	3 (0.25)
喘息	1 (0.08)
慢性気管支炎	1 (0.08)
呼吸困難	1 (0.08)

胃腸障害	30 (2.47)
腹部不快感	1 (0.08)
腹部膨満	2 (0.16)
腹痛	1 (0.08)
上腹部痛	1 (0.08)
裂肛	1 (0.08)
痔瘻	3 (0.25)
口唇炎	2 (0.16)
便秘	1 (0.08)
下痢	5 (0.41)
腸炎	3 (0.25)
胃炎	2 (0.16)
胃食道逆流性疾患	4 (0.33)
血便排泄	1 (0.08)
痔核	2 (0.16)
過敏性腸症候群	1 (0.08)
悪心	3 (0.25)
肛門周囲痛	1 (0.08)
口内炎	2 (0.16)
嘔吐	1 (0.08)
軟便	1 (0.08)
肝胆道系障害	10 (0.82)
アルコール性肝疾患	1 (0.08)
胆石症	1 (0.08)
肝機能異常	2 (0.16)
脂肪肝	1 (0.08)
肝障害	6 (0.49)
皮膚および皮下組織障害	27 (2.22)
さ瘡	5 (0.41)
脱毛症	3 (0.25)
皮膚囊腫	2 (0.16)
アトピー性皮膚炎	1 (0.08)
薬疹	1 (0.08)
皮膚乾燥	2 (0.16)
湿疹	5 (0.41)
ヘノッホ・シェーンライン紫斑病	1 (0.08)
そう痒症	4 (0.33)
発疹	5 (0.41)
尋麻疹	4 (0.33)
好酸球性膿疱性毛包炎	1 (0.08)
筋骨格系および結合組織障害	5 (0.41)
関節痛	1 (0.08)
背部痛	1 (0.08)
骨壊死	1 (0.08)
骨粗鬆症	1 (0.08)
椎間板突出	1 (0.08)
顎障害	1 (0.08)
腎および尿路障害	4 (0.33)
緊張性膀胱	1 (0.08)
腎結石症	1 (0.08)
夜間頻尿	1 (0.08)
蛋白尿	1 (0.08)
生殖系および乳房障害	3 (0.25)
良性前立腺肥大症	1 (0.08)
月経困難症	1 (0.08)
前立腺炎	1 (0.08)
一般・全身障害および投与部位の状態	9 (0.74)
胸部不快感	1 (0.08)
薬効欠如	1 (0.08)
疲労	2 (0.16)
倦怠感	2 (0.16)
発熱	1 (0.08)
治療効果減弱	1 (0.08)
治療非遵守	2 (0.16)

表7. 組合No.1

ビクトルビ単剤例の
副作用発現状況

臨床検査	49 (4.03)
尿中 β 2ミクログロブリン増加	1 (0.08)
血中ビリルビン増加	1 (0.08)
血中クレアチンホスホキナーゼ増加	2 (0.16)
血中クレアチニン増加	10 (0.82)
血圧低下	1 (0.08)
血中トリグリセリド増加	3 (0.25)
γ -グルタミルトランスフェラーゼ増加	1 (0.08)
低比重リポ蛋白増加	11 (0.90)
体重増加	19 (1.56)
尿中蛋白陽性	1 (0.08)
シスタチンC異常	1 (0.08)
肝機能検査値上昇	1 (0.08)

表8. 組合No.2

デシコビ+テビケイ併用例の
患者背景別副作用発現割合

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 割合(%)	解析結果 (Fisher)
計		1281	210	449	16.39%	
性別	男	1217	203	440	16.68%	P=0.298
	女	64	7	9	10.94%	
年齢	≤14歳	0			–	P=0.470
	15歳≤ ≤64歳	1222	203	442	16.61%	
	65歳≤	59	7	7	11.86%	
人種	日本人	1199	192	406	16.01%	P=0.166
	その他	82	18	43	21.95%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	493	29	33	5.88%	P=0.000 **
	有	788	181	416	22.97%	
合併症有無	無	356	28	43	7.87%	P=0.000 **
	有	893	174	382	19.48%	
	不明・未記載	32	8	24	25.00%	
合併症腎障害	無	1199	190	403	15.85%	P=0.167
	有	50	12	22	24.00%	
	不明・未記載	32	8	24	25.00%	
合併症肝障害	無	946	135	264	14.27%	P=0.002 **
	有	303	67	161	22.11%	
	肝炎	163	18	41	11.04%	–
	不明・未記載	32	8	24	25.00%	
血友病	無	1227	200	421	16.30%	P=0.559
	有	22	2	4	9.09%	
	A	20	2	4	10.00%	P=1.000
	B	2			0.00%	
	不明・未記載	32	8	24	25.00%	
既往歴有無	無	617	77	142	12.48%	P=0.010 *
	有	474	86	141	18.14%	
	不明・未記載	190	47	166	24.74%	
アレルギーの有無	無	966	164	383	16.98%	P=0.470
	有	285	43	62	15.09%	
	不明・未記載	30	3	4	10.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギーの内容は特に限定せず集計した。

表9. 組合No.2

デシコビ+テビケイ併用例の
副作用発現状況

調査施設数	24
調査症例数	1281
副作用等の発現症例数	210 (16.39%)
副作用等の発現件数	449
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	43 (3.36)
気管支炎	1 (0.08)
爪の皮膚糸状菌症	2 (0.16)
憩室炎	1 (0.08)
毛包炎	4 (0.31)
せつ	1 (0.08)
胃腸炎	2 (0.16)
性器カンジダ症	1 (0.08)
陰部ヘルペス	3 (0.23)
A型肝炎	2 (0.16)
単純ヘルペス	1 (0.08)
ヘルペスウイルス感染	1 (0.08)
帯状疱疹	9 (0.70)
膿疱疹	4 (0.31)
インフルエンザ	1 (0.08)
神経梅毒	1 (0.08)
口腔カンジダ症	2 (0.16)
咽頭炎	5 (0.39)
鼻炎	1 (0.08)
副鼻腔炎	1 (0.08)
足部白癬	4 (0.31)
扁桃炎	2 (0.16)
ウイルス感染	1 (0.08)
肛門膿瘍	1 (0.08)
四肢膿瘍	1 (0.08)
癰疽	2 (0.16)
感染性腸炎	1 (0.08)
クラミジア感染	2 (0.16)
スピロヘータ感染	1 (0.08)
細菌性結膜炎	1 (0.08)
梅毒	14 (1.09)
耳帯状疱疹	1 (0.08)
口腔咽頭淋菌感染	1 (0.08)
口腔ヘルペス	4 (0.31)
淋菌感染	1 (0.08)
COVID-19	4 (0.31)
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびポリープを含む)	7 (0.55)
カボジ肉腫	1 (0.08)
肺転移	1 (0.08)
直腸癌	1 (0.08)
皮膚乳頭腫	2 (0.16)
尿路転移	1 (0.08)
肛門性器疣贅	2 (0.16)
結腸直腸腺腫	1 (0.08)
血液およびリンパ系障害	2 (0.16)
大球性貧血	1 (0.08)
好中球減少症	1 (0.08)
免疫系障害	5 (0.39)
季節性アレルギー	5 (0.39)
内分泌障害	1 (0.08)
自己免疫性甲状腺炎	1 (0.08)
代謝および栄養障害	55 (4.29)
糖尿病	4 (0.31)
耐糖能障害	2 (0.16)
高コレステロール血症	7 (0.55)
高血糖	1 (0.08)
高カリウム血症	1 (0.08)
高トリグリセリド血症	5 (0.39)
高尿酸血症	16 (1.25)
乳酸アシドーシス	1 (0.08)
脂質異常症	9 (0.70)
脂質代謝障害	1 (0.08)
高脂血症	10 (0.78)
高クレアチニン血症	4 (0.31)
2型糖尿病	2 (0.16)
精神障害	28 (2.19)
アルコール症	1 (0.08)
不安	1 (0.08)
抑うつ気分	1 (0.08)
うつ病	3 (0.23)
初期不眠症	1 (0.08)
不眠症	15 (1.17)
悪夢	1 (0.08)
パニック障害	2 (0.16)
統合失調症	1 (0.08)
睡眠障害	3 (0.23)
自殺念慮	1 (0.08)
不安障害	1 (0.08)
適応障害	2 (0.16)
注意欠如・多動性障害	1 (0.08)

神経系障害	12 (0.94)
浮動性めまい	3 (0.23)
顔面麻痺	3 (0.23)
頭痛	2 (0.16)
感覚鈍麻	1 (0.08)
頭蓋内動脈瘤	1 (0.08)
片頭痛	2 (0.16)
麻痺	1 (0.08)
坐骨神経痛	1 (0.08)
緊張性頭痛	1 (0.08)
眼障害	1 (0.08)
緑内障	1 (0.08)
耳および迷路障害	2 (0.16)
感音性難聴	1 (0.08)
聴覚過敏	1 (0.08)
心臓障害	2 (0.16)
狭心症	1 (0.08)
洞結節機能不全	1 (0.08)
血管障害	16 (1.25)
高血圧	15 (1.17)
静脈瘤	1 (0.08)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	5 (0.39)
喘息	1 (0.08)
慢性気管支炎	2 (0.16)
アレルギー性鼻炎	1 (0.08)
器質性肺炎	1 (0.08)
特発性間質性肺炎	1 (0.08)
胃腸障害	28 (2.19)
腹部不快感	1 (0.08)
腹部膨満	3 (0.23)
痔瘻	2 (0.16)
便秘	1 (0.08)
下痢	4 (0.31)
消化不良	1 (0.08)
腸炎	1 (0.08)
胃炎	4 (0.31)
胃食道逆流性疾患	1 (0.08)
痔核	2 (0.16)
過敏性腸症候群	1 (0.08)
悪心	5 (0.39)
脾炎	2 (0.16)
口内炎	4 (0.31)
膈ヘルニア	1 (0.08)
嘔吐	1 (0.08)
肝胆道系障害	19 (1.48)
胆石症	1 (0.08)
肝機能異常	10 (0.78)
脂肪肝	2 (0.16)
肝障害	6 (0.47)
皮膚および皮下組織障害	25 (1.95)
ざ瘡	4 (0.31)
円形脱毛症	2 (0.16)
皮膚嚢腫	1 (0.08)
アトピー性皮膚炎	1 (0.08)
薬疹	1 (0.08)
皮膚乾燥	2 (0.16)
湿疹	1 (0.08)
紅斑	3 (0.23)
掌蹠角皮症	1 (0.08)
そう痒症	5 (0.39)
発疹	4 (0.31)
脂漏性皮膚炎	5 (0.39)
日光皮膚炎	1 (0.08)
蕁麻疹	4 (0.31)
筋骨格系および結合組織障害	11 (0.86)
関節痛	2 (0.16)
関節炎	1 (0.08)
背部痛	1 (0.08)
骨嚢腫	1 (0.08)
筋痙攣	1 (0.08)
筋肉痛	1 (0.08)
骨壊死	1 (0.08)
横紋筋融解症	1 (0.08)
椎間板突出	1 (0.08)
筋骨格硬直	1 (0.08)

表9. 組合No.2

デシコビ+テビケイ併用例の
副作用発現状況

腎および尿路障害	9 (0.70)
尿路結石	1 (0.08)
頻尿	1 (0.08)
蛋白尿	1 (0.08)
糖尿病性腎症	1 (0.08)
腎機能障害	2 (0.16)
急性腎障害	2 (0.16)
尿管結石症	1 (0.08)
生殖系および乳房障害	5 (0.39)
血精液症	1 (0.08)
陰部そう痒症	2 (0.16)
勃起不全	2 (0.16)
一般・全身障害および投与部位の状態	13 (1.01)
死亡	1 (0.08)
薬効欠如	1 (0.08)
疲労	1 (0.08)
倦怠感	3 (0.23)
末梢性浮腫	1 (0.08)
疼痛	1 (0.08)
治療効果減弱	2 (0.16)
治療非遵守	3 (0.23)
薬剤耐性	1 (0.08)
臨床検査	62 (4.84)
アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ増加	1 (0.08)
尿中β2ミクログロブリン増加	5 (0.39)
血中コレステロール増加	1 (0.08)
血中コリンエステラーゼ減少	1 (0.08)
血中クレアチンホスホキナーゼ増加	1 (0.08)
血中クレアチニン増加	17 (1.33)
血中トリグリセリド増加	5 (0.39)
血中尿酸増加	1 (0.08)
血中尿酸増加	4 (0.31)
尿中結晶陽性	1 (0.08)
薬物濃度増加	1 (0.08)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	4 (0.31)
脂質異常	3 (0.23)
低比重リポ蛋白増加	14 (1.09)
体重増加	8 (0.62)
骨密度減少	1 (0.08)
血中HIV-1 RNA増加	1 (0.08)
尿中蛋白陽性	1 (0.08)
血中アルカリホスファターゼ増加	2 (0.16)
肝酵素上昇	4 (0.31)
肝機能検査値上昇	2 (0.16)
傷害、中毒および処置合併症	4 (0.31)
足骨折	1 (0.08)
手首関節骨折	1 (0.08)
挫傷	1 (0.08)
半月板損傷	1 (0.08)

表10. 組合No.3

ドゥベイト単剤例の
患者背景別副作用発現割合

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 割合(%)	解析結果 (Fisher)
計		447	55	105	12.30%	
性別	男	430	55	105	12.79%	P=0.247
	女	17			0.00%	
年齢	≤14歳	0			–	P=0.014 *
	15歳 ≤ ≤64歳	413	55	105	13.32%	
	65歳 ≤	34			0.00%	
人種	日本人	433	53	103	12.24%	P=0.686
	その他	14	2	2	14.29%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	207	5	7	2.42%	P=0.000 **
	有	240	50	98	20.83%	
合併症有無	無	149	5	5	3.36%	P=0.000 **
	有	283	45	95	15.90%	
	不明・未記載	15	5	5	33.33%	
合併症腎障害	無	402	47	94	11.69%	P=1.000
	有	30	3	6	10.00%	
	不明・未記載	15	5	5	33.33%	
合併症肝障害	無	386	44	77	11.40%	P=0.807
	有	46	6	23	13.04%	
	肝炎	11	1	2	9.09%	–
	不明・未記載	15	5	5	33.33%	
血友病	無	431	50	100	11.60%	P=1.000
	有	1			0.00%	
	A	1			0.00%	–
	B	0			–	
	不明・未記載	15	5	5	33.33%	
既往歴有無	無	220	6	7	2.73%	P=0.026 *
	有	150	12	26	8.00%	
	不明・未記載	77	37	72	48.05%	
アレルギーの有無	無	368	52	101	14.13%	P=0.012 *
	有	77	3	4	3.90%	
	不明・未記載	2			0.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギーの内容は特に限定せず集計した。

表11. 組合№3

ドゥペイト単剤例の
副作用発現状況

調査施設数	20
調査症例数	447
副作用等の発現症例数	55 (12.30%)
副作用等の発現件数	105
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	27 (6.04)
気管支炎	2 (0.45)
蜂巣炎	1 (0.22)
爪の皮膚糸状菌症	1 (0.22)
単純ヘルペス	1 (0.22)
膿痂疹	2 (0.45)
インフルエンザ	1 (0.22)
咽頭炎	2 (0.45)
鼻炎	1 (0.22)
クラミジア性尿道炎	1 (0.22)
ヘリコバクター性胃炎	1 (0.22)
クラミジア感染	1 (0.22)
梅毒	10 (2.24)
細菌性扁桃炎	1 (0.22)
口腔咽頭淋菌感染	1 (0.22)
COVID-19	11 (2.46)
免疫系障害	3 (0.67)
季節性アレルギー	3 (0.67)
代謝および栄養障害	5 (1.12)
糖尿病	1 (0.22)
高尿酸血症	2 (0.45)
脂質異常症	1 (0.22)
高脂血症	1 (0.22)
高クレアチニン血症	1 (0.22)
精神障害	4 (0.89)
不眠症	3 (0.67)
睡眠障害	1 (0.22)
神経系障害	2 (0.45)
頭痛	1 (0.22)
緊張性頭痛	1 (0.22)
眼障害	1 (0.22)
霧視	1 (0.22)
耳および迷路障害	1 (0.22)
メニエール病	1 (0.22)
心臓障害	1 (0.22)
動悸	1 (0.22)
血管障害	2 (0.45)
高血圧	2 (0.45)
呼吸器、胸部および縦隔障害	4 (0.89)
喘息	1 (0.22)
咳嗽	2 (0.45)
アレルギー性鼻炎	1 (0.22)
咳喘息	1 (0.22)
胃腸障害	15 (3.36)
腹痛	1 (0.22)
上腹部痛	1 (0.22)
裂肛	1 (0.22)
便秘	1 (0.22)
下痢	2 (0.45)
嚥下障害	1 (0.22)
胃炎	3 (0.67)
胃腸障害	1 (0.22)
痔核	2 (0.45)
悪心	1 (0.22)
膵嚢胞	1 (0.22)
口内炎	3 (0.67)
肝胆道系障害	2 (0.45)
胆石症	1 (0.22)
肝嚢胞	1 (0.22)
皮膚および皮下組織障害	5 (1.12)
ざ瘡	1 (0.22)
脱毛症	1 (0.22)
薬疹	1 (0.22)
掌蹠角皮症	1 (0.22)
そう痒症	1 (0.22)
蕁麻疹	1 (0.22)
筋骨格系および結合組織障害	1 (0.22)
四肢痛	1 (0.22)
腎および尿路障害	1 (0.22)
腎嚢胞	1 (0.22)
生殖系および乳房障害	2 (0.45)
女性化乳房	1 (0.22)
陰部そう痒症	1 (0.22)
一般・全身障害および投与部位の状態	1 (0.22)
倦怠感	1 (0.22)
臨床検査	11 (2.46)
血中クレアチニン増加	1 (0.22)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	1 (0.22)
体重増加	7 (1.57)
血中HIV-RNA増加	1 (0.22)
糖鎖抗原19-9増加	1 (0.22)
傷害、中毒および処置合併症	1 (0.22)
免疫反応	1 (0.22)

表12. 組合No.4

ゲンボイヤ単剤例の
患者背景別副作用発現割合

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 割合(%)	解析結果 (Fisher)
計		739	70	102	9.47%	
性別	男	704	66	95	9.38%	P=0.564
	女	35	4	7	11.43%	
年齢	≤14歳	0			–	P=0.098
	15歳 ≤ ≤64歳	698	63	92	9.03%	
	65歳 ≤	41	7	10	17.07%	
人種	日本人	704	67	94	9.52%	P=1.000
	その他	35	3	8	8.57%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	381	11	13	2.89%	P=0.000 **
	有	358	59	89	16.48%	
合併症有無	無	275	7	10	2.55%	P=0.000 **
	有	439	61	90	13.90%	
	不明・未記載	25	2	2	8.00%	
合併症腎障害	無	644	57	80	8.85%	P=0.083
	有	70	11	20	15.71%	
	不明・未記載	25	2	2	8.00%	
合併症肝障害	無	569	49	71	8.61%	P=0.113
	有	145	19	29	13.10%	
	肝炎	79	8	13	10.13%	–
	不明・未記載	25	2	2	8.00%	
血友病	無	708	68	100	9.60%	P=1.000
	有	6			0.00%	
	A	4			0.00%	–
	B	2			0.00%	
	不明・未記載	25	2	2	8.00%	
既往歴有無	無	366	23	29	6.28%	P=0.000 **
	有	203	33	47	16.26%	
	不明・未記載	170	14	26	8.24%	
アレルギーの有無	無	575	48	75	8.35%	P=0.018 *
	有	145	22	27	15.17%	
	不明・未記載	19			0.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギーの内容は特に限定せず集計した。

表13. 組合№4

ゲンボイヤ単剤例の
副作用発現状況

調査施設数	27
調査症例数	739
副作用等の発現症例数	70 (9.47%)
副作用等の発現件数	102
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	10 (1.35)
クロストリジウム・ディフィシレ大腸炎	1 (0.14)
陰部ヘルペス	1 (0.14)
带状疱疹	4 (0.54)
ウイルス性髄膜炎	1 (0.14)
進行性多巣性白質脳症	1 (0.14)
鼻炎	1 (0.14)
感染性腸炎	1 (0.14)
非定型マイコバクテリア感染	1 (0.14)
梅毒	3 (0.41)
血液およびリンパ系障害	2 (0.27)
貧血	1 (0.14)
血小板減少症	1 (0.14)
免疫系障害	2 (0.27)
免疫再構築炎症反応症候群	1 (0.14)
口腔アレルギー症候群	1 (0.14)
代謝および栄養障害	14 (1.89)
糖尿病	2 (0.27)
高コレステロール血症	3 (0.41)
高トリグリセリド血症	1 (0.14)
高尿酸血症	2 (0.27)
肥満	1 (0.14)
脂質異常症	4 (0.54)
高脂血症	2 (0.27)
精神障害	8 (1.08)
異常な夢	1 (0.14)
不安	1 (0.14)
幻覚	1 (0.14)
不眠症	3 (0.41)
悪夢	1 (0.14)
睡眠障害	1 (0.14)
不安障害	1 (0.14)
適応障害	1 (0.14)
神経系障害	8 (1.08)
健忘	1 (0.14)
脳梗塞	1 (0.14)
浮動性めまい	1 (0.14)
頭部不快感	1 (0.14)
頭痛	2 (0.27)
重症筋無力症	1 (0.14)
後頭神経痛	1 (0.14)
心臓障害	1 (0.14)
第二度房室ブロック	1 (0.14)
血管障害	2 (0.27)
高血圧	2 (0.27)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	1 (0.14)
喘息	1 (0.14)
アレルギー性気管支炎	1 (0.14)
胃腸障害	12 (1.62)
便秘	1 (0.14)
下痢	3 (0.41)
胃炎	2 (0.27)
イレウス	1 (0.14)
悪心	3 (0.41)
急性脾炎	1 (0.14)
上腸間膜動脈解離	1 (0.14)
肝胆道系障害	3 (0.41)
肝機能異常	3 (0.41)
皮膚および皮下組織障害	2 (0.27)
皮膚炎	1 (0.14)
アレルギー性皮膚炎	1 (0.14)
筋骨格系および結合組織障害	2 (0.27)
骨壊死	1 (0.14)
腱鞘炎	1 (0.14)
腎および尿路障害	7 (0.95)
中毒性腎症	1 (0.14)
蛋白尿	2 (0.27)
腎障害	1 (0.14)
腎機能障害	3 (0.41)
生殖系および乳房障害	2 (0.27)
女性化乳房	1 (0.14)
閉経期症状	1 (0.14)
一般・全身障害および投与部位の状態	4 (0.54)
発熱	1 (0.14)
治療効果減弱	2 (0.27)
薬剤耐性	2 (0.27)

臨床検査	12 (1.62)
アラニンアミトランスフェラーゼ増加	1 (0.14)
血中クレアチンホスホキナーゼ増加	2 (0.27)
血中クレアチニン増加	2 (0.27)
脂質異常	1 (0.14)
低比重リポ蛋白増加	3 (0.41)
体重増加	1 (0.14)
血中HIV－RNA増加	1 (0.14)
血中アルカリホスファターゼ増加	1 (0.14)
肝酵素上昇	1 (0.14)

表14. 組合No.5

デシコビ+アイセントレス600併用例の
患者背景別副作用発現割合

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 割合(%)	解析結果 (Fisher)
計		181	29	52	16.02%	
性別	男	170	27	50	15.88%	P=0.690
	女	11	2	2	18.18%	
年齢	≤14歳	0			–	P=0.724
	15歳≤ ≤64歳	165	26	49	15.76%	
	65歳≤	16	3	3	18.75%	
人種	日本人	173	26	34	15.03%	P=0.118
	その他	8	3	18	37.50%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	76	4	4	5.26%	P=0.001 **
	有	105	25	48	23.81%	
合併症有無	無	55	4	5	7.27%	P=0.065
	有	112	21	43	18.75%	
	不明・未記載	14	4	4	28.57%	
合併症腎障害	無	159	21	41	13.21%	P=0.018 *
	有	8	4	7	50.00%	
	不明・未記載	14	4	4	28.57%	
合併症肝障害	無	133	14	22	10.53%	P=0.005 **
	有	34	11	26	32.35%	
	肝炎	21	6	7	28.57%	–
	不明・未記載	14	4	4	28.57%	
血友病	無	164	24	47	14.63%	P=0.387
	有	3	1	1	33.33%	
	A	3	1	1	33.33%	–
	B	0			–	
	不明・未記載	14	4	4	28.57%	
既往歴有無	無	93	13	17	13.98%	P=0.791
	有	44	5	19	11.36%	
	不明・未記載	44	11	16	25.00%	
アレルギーの有無	無	132	24	45	18.18%	P=0.626
	有	38	5	7	13.16%	
	不明・未記載	11			0.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギーの内容は特に限定せず集計した。

表15. 組合№5

デシコビ+アイセントレス600併用例の
副作用発現状況

調査施設数	21
調査症例数	181
副作用等の発現症例数	29 (16.02%)
副作用等の発現件数	52
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	4 (2.21)
陰部ヘルペス	1 (0.55)
带状疱疹	1 (0.55)
白癬感染	1 (0.55)
梅毒	1 (0.55)
口腔ヘルペス	1 (0.55)
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびポリープを含む)	1 (0.55)
皮膚乳頭腫	1 (0.55)
血液およびリンパ系障害	1 (0.55)
貧血	1 (0.55)
免疫系障害	1 (0.55)
季節性アレルギー	1 (0.55)
代謝および栄養障害	6 (3.31)
糖尿病	1 (0.55)
高尿酸血症	2 (1.10)
脂質異常症	3 (1.66)
高クレアチニン血症	1 (0.55)
精神障害	3 (1.66)
自殺既遂	1 (0.55)
不眠症	2 (1.10)
神経系障害	2 (1.10)
意識変容状態	1 (0.55)
感覚鈍麻	1 (0.55)
血管障害	1 (0.55)
高血圧	1 (0.55)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	2 (1.10)
喘息	1 (0.55)
慢性気管支炎	1 (0.55)
アレルギー性鼻炎	1 (0.55)
胃腸障害	8 (4.42)
腹部膨満	1 (0.55)
腹痛	1 (0.55)
下痢	1 (0.55)
胃食道逆流性疾患	2 (1.10)
胃腸障害	1 (0.55)
過敏性腸症候群	1 (0.55)
悪心	1 (0.55)
軟便	2 (1.10)
肝胆道系障害	1 (0.55)
胆石症	1 (0.55)
脂肪肝	1 (0.55)
過形成性胆嚢症	1 (0.55)
肝障害	1 (0.55)
皮膚および皮下組織障害	2 (1.10)
ざ瘡	1 (0.55)
湿疹	1 (0.55)
そう痒症	1 (0.55)
筋骨格系および結合組織障害	1 (0.55)
骨粗鬆症	1 (0.55)
一般・全身障害および投与部位の状態	1 (0.55)
倦怠感	1 (0.55)
臨床検査	6 (3.31)
血中クレアチンホスホキナーゼ増加	1 (0.55)
血中トリグリセリド増加	1 (0.55)
体重増加	3 (1.66)
血中HIV－RNA増加	2 (1.10)
血中HIV－RNA減少	1 (0.55)
傷害、中毒および処置合併症	1 (0.55)
骨折	1 (0.55)

表16. 組合№6

トリーメク単剤例の
患者背景別副作用発現割合

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 割合(%)	解析結果 (Fisher)
計		879	233	497	26.51%	
性別	男	846	223	485	26.36%	P=0.688
	女	33	10	12	30.30%	
年齢	≤14歳	1			0.00%	P=0.430
	15歳≤ ≤64歳	834	225	481	26.98%	
	65歳≤	44	8	16	18.18%	
人種	日本人	834	217	465	26.02%	P=0.167
	その他	45	16	32	35.56%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	327	36	51	11.01%	P=0.000 **
	有	552	197	446	35.69%	
合併症有無	無	276	37	45	13.41%	P=0.000 **
	有	580	184	422	31.72%	
	不明・未記載	23	12	30	52.17%	
合併症腎障害	無	786	198	412	25.19%	P=0.199
	有	70	23	55	32.86%	
	不明・未記載	23	12	30	52.17%	
合併症肝障害	無	724	173	369	23.90%	P=0.003 **
	有	132	48	98	36.36%	
	肝炎	41	10	19	24.39%	-
	不明・未記載	23	12	30	52.17%	
血友病	無	841	218	462	25.92%	P=0.771
	有	15	3	5	20.00%	
	A	14	3	5	21.43%	P=1.000
	B	1			0.00%	
	不明・未記載	23	12	30	52.17%	
既往歴有無	無	427	73	125	17.10%	P=0.000 **
	有	327	111	206	33.95%	
	不明・未記載	125	49	166	39.20%	
アレルギーの有無	無	654	162	370	24.77%	P=0.015 *
	有	209	70	126	33.49%	
	不明・未記載	16	1	1	6.25%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギーの内容は特に限定せず集計した。

表17. 組合№6

トリーメグ単剤例の
副作用発現状況

調査施設数	27
調査症例数	879
副作用等の発現症例数	233 (26.51%)
副作用等の発現件数	497
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	42 (4.78)
カンジダ性亀頭炎	1 (0.11)
気管支炎	1 (0.11)
蜂巣炎	1 (0.11)
サイトメガロウイルス感染	2 (0.23)
爪の皮膚糸状菌症	1 (0.11)
毛包炎	4 (0.46)
せつ	1 (0.11)
陰部ヘルペス	1 (0.11)
A型肝炎	1 (0.11)
B型肝炎	1 (0.11)
C型肝炎	2 (0.23)
単純ヘルペス	1 (0.11)
ヘルペスウイルス感染	1 (0.11)
帯状疱疹	6 (0.68)
膿痂疹	3 (0.34)
伝染性軟属腫	1 (0.11)
上咽頭炎	1 (0.11)
口腔カンジダ症	2 (0.23)
中耳炎	1 (0.11)
咽頭炎	1 (0.11)
鼻炎	1 (0.11)
副鼻腔炎	1 (0.11)
足部白癬	3 (0.34)
扁桃炎	2 (0.23)
クラミジア性尿道炎	1 (0.11)
肛門膿瘍	3 (0.34)
癰疽	1 (0.11)
ウイルス血症	1 (0.11)
非定型マイコプラズマ感染	1 (0.11)
化膿	1 (0.11)
梅毒	8 (0.91)
口腔ヘルペス	1 (0.11)
播種性マイコプラズマ・アピウムコンプレックス感染	1 (0.11)
ニューモシスチス・イロパチ肺炎	3 (0.34)
COVID-19	3 (0.34)
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびポリープを含む)	7 (0.80)
ホジキン病	1 (0.11)
カボジ肉腫	2 (0.23)
リンパ腫	1 (0.11)
肛門性器疣贅	1 (0.11)
骨の良性新生物	1 (0.11)
肛門新生物	1 (0.11)
血液およびリンパ系障害	3 (0.34)
発熱性好中球減少症	1 (0.11)
リンパ節炎	1 (0.11)
好中球減少症	1 (0.11)
免疫系障害	17 (1.93)
過敏症	1 (0.11)
季節性アレルギー	5 (0.57)
免疫再構築炎症反応症候群	11 (1.25)
内分泌障害	1 (0.11)
甲状腺腫	1 (0.11)
代謝および栄養障害	50 (5.69)
糖尿病	7 (0.80)
高コレステロール血症	6 (0.68)
高血糖	1 (0.11)
高トリグリセリド血症	3 (0.34)
高尿酸血症	16 (1.82)
脂質異常症	12 (1.37)
高脂血症	7 (0.80)
高クレアチニン血症	3 (0.34)
精神障害	27 (3.07)
不安	1 (0.11)
自殺既遂	1 (0.11)
うつ病	2 (0.23)
不眠症	18 (2.05)
中期不眠症	1 (0.11)
睡眠障害	2 (0.23)
社交不安障害	1 (0.11)
抑うつ症状	1 (0.11)
不安障害	2 (0.23)
適応障害	1 (0.11)
気分の落ち込み	1 (0.11)
神経系障害	19 (2.16)
浮動性めまい	4 (0.46)
顔面麻痺	2 (0.23)
頭部不快感	1 (0.11)
頭痛	12 (1.37)
感覚鈍麻	1 (0.11)
末梢性ニューロパチー	1 (0.11)

眼障害	3 (0.34)
白内障	1 (0.11)
角膜炎	1 (0.11)
円錐角膜	1 (0.11)
心臓障害	7 (0.80)
急性心筋梗塞	2 (0.23)
狭心症	2 (0.23)
心不全	1 (0.11)
うつ血性心不全	1 (0.11)
動悸	1 (0.11)
発作性頻脈	1 (0.11)
血管障害	13 (1.48)
高血圧	12 (1.37)
ほてり	1 (0.11)
呼吸器、胸部および縦隔障害	5 (0.57)
喘息	3 (0.34)
アレルギー性鼻炎	1 (0.11)
咳喘息	2 (0.23)
胃腸障害	64 (7.28)
腹部不快感	1 (0.11)
腹痛	2 (0.23)
上腹部痛	1 (0.11)
裂肛	1 (0.11)
慢性胃炎	1 (0.11)
便秘	1 (0.11)
下痢	8 (0.91)
消化不良	3 (0.34)
腸炎	2 (0.23)
胃炎	2 (0.23)
胃食道逆流性疾患	2 (0.23)
胃腸障害	3 (0.34)
痔核	3 (0.34)
過敏性腸症候群	1 (0.11)
悪心	33 (3.75)
肛門周囲痛	1 (0.11)
口内炎	5 (0.57)
埋伏歯	1 (0.11)
嘔吐	2 (0.23)
軟便	2 (0.23)
肝胆道系障害	30 (3.41)
肝機能異常	17 (1.93)
脂肪肝	1 (0.11)
高ビリルビン血症	1 (0.11)
肝障害	11 (1.25)
皮膚および皮下組織障害	40 (4.55)
ざ瘡	5 (0.57)
脱毛症	2 (0.23)
円形脱毛症	2 (0.23)
アレルギー性皮膚炎	2 (0.23)
アトピー性皮膚炎	3 (0.34)
薬疹	4 (0.46)
皮膚乾燥	3 (0.34)
異汗性湿疹	1 (0.11)
湿疹	2 (0.23)
紅斑	1 (0.11)
多汗症	2 (0.23)
掌蹠角皮症	1 (0.11)
痒疹	1 (0.11)
そう痒症	8 (0.91)
発疹	6 (0.68)
脂漏性皮膚炎	1 (0.11)
蕁麻疹	2 (0.23)
手皮膚炎	1 (0.11)
爪痛	1 (0.11)
筋骨格系および結合組織障害	15 (1.71)
関節痛	1 (0.11)
背部痛	1 (0.11)
筋膜炎	1 (0.11)
頸部痛	1 (0.11)
骨粗鬆症	4 (0.46)
四肢痛	1 (0.11)
足底筋膜炎	1 (0.11)
骨減少症	2 (0.23)
椎間板突出	1 (0.11)
筋骨格硬直	2 (0.23)

表17. 組合№6

トリーメグ単剤例の
副作用発現状況

腎および尿路障害	9 (1.02)
排尿困難	1 (0.11)
神経因性膀胱	1 (0.11)
腎障害	1 (0.11)
腎機能障害	5 (0.57)
慢性腎臓病	1 (0.11)
腎前性腎不全	1 (0.11)
生殖系および乳房障害	1 (0.11)
亀頭包皮炎	1 (0.11)
一般・全身障害および投与部位の状態	12 (1.37)
胸部不快感	1 (0.11)
倦怠感	2 (0.23)
発熱	1 (0.11)
治療効果減弱	1 (0.11)
口渇	1 (0.11)
治療非遵守	5 (0.57)
薬剤耐性	1 (0.11)
臨床検査	63 (7.17)
アラニンアミトランスフェラーゼ増加	1 (0.11)
アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ増加	1 (0.11)
尿中β2ミクログロブリン増加	3 (0.34)
血中ビリルビン増加	2 (0.23)
血中クレアチンホスホキナーゼ増加	2 (0.23)
血中クレアチニン増加	31 (3.53)
血中トリグリセリド増加	7 (0.80)
血中尿素増加	1 (0.11)
血中尿酸増加	3 (0.34)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	2 (0.23)
肝機能検査異常	1 (0.11)
低比重リポ蛋白増加	5 (0.57)
体重増加	2 (0.23)
骨密度減少	1 (0.11)
血中HIV-1 RNA増加	1 (0.11)
尿潜血陽性	1 (0.11)
トランスアミナーゼ上昇	1 (0.11)
尿細胞診異常	1 (0.11)
肝酵素上昇	4 (0.46)
肝酵素異常	1 (0.11)
CD4リンパ球異常	1 (0.11)
B型肝炎DNA増加	1 (0.11)
肝機能検査値上昇	1 (0.11)
傷害、中毒および処置合併症	3 (0.34)
顔面骨骨折	1 (0.11)
腱断裂	1 (0.11)
挫傷	1 (0.11)

表18. 組合No.7

シムツーザ単剤例の
患者背景別副作用発現割合

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 割合(%)	解析結果 (Fisher)
計		101	18	26	17.82%	
性別	男	95	18	26	18.95%	P=0.588
	女	6			0.00%	
年齢	≤14歳	0			–	P=0.588
	15歳 ≤ ≤64歳	95	18	26	18.95%	
	65歳 ≤	6			0.00%	
人種	日本人	92	16	23	17.39%	P=0.660
	その他	9	2	3	22.22%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	32	3	5	9.38%	P=0.168
	有	69	15	21	21.74%	
合併症有無	無	29	3	5	10.34%	P=0.170
	有	65	15	21	23.08%	
	不明・未記載	7			0.00%	
合併症腎障害	無	87	17	25	19.54%	P=1.000
	有	7	1	1	14.29%	
	不明・未記載	7			0.00%	
合併症肝障害	無	82	16	24	19.51%	P=1.000
	有	12	2	2	16.67%	
	肝炎	8	2	2	25.00%	–
	不明・未記載	7			0.00%	
血友病	無	93	18	26	19.35%	P=1.000
	有	1			0.00%	
	A	1			0.00%	–
	B	0			–	
	不明・未記載	7			0.00%	
既往歴有無	無	48	10	12	20.83%	P=0.549
	有	29	4	10	13.79%	
	不明・未記載	24	4	4	16.67%	
アレルギーの有無	無	78	13	18	16.67%	P=0.550
	有	23	5	8	21.74%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギーの内容は特に限定せず集計した。

表19. 組合No.7

シムツーザ単剤例の
副作用発現状況

調査施設数	18
調査症例数	101
副作用等の発現症例数	18 (17.82%)
副作用等の発現件数	26
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	2 (1.98)
サイトメガロウイルス性脈絡網膜炎	1 (0.99)
筋膜炎	1 (0.99)
ニューモシスチス・イロベチ肺炎	1 (0.99)
免疫系障害	1 (0.99)
免疫再構築炎症反応症候群	1 (0.99)
代謝および栄養障害	4 (3.96)
脂質異常症	3 (2.97)
高脂血症	1 (0.99)
精神障害	1 (0.99)
不眠症	1 (0.99)
神経系障害	2 (1.98)
浮動性めまい	1 (0.99)
傾眠	1 (0.99)
てんかん重積状態	1 (0.99)
血管障害	2 (1.98)
高血圧	2 (1.98)
胃腸障害	3 (2.97)
慢性胃炎	1 (0.99)
下痢	1 (0.99)
小腸閉塞	1 (0.99)
肝胆道系障害	2 (1.98)
肝機能異常	1 (0.99)
薬物性肝障害	1 (0.99)
皮膚および皮下組織障害	2 (1.98)
薬疹	2 (1.98)
一般・全身障害および投与部位の状態	2 (1.98)
死亡	1 (0.99)
倦怠感	1 (0.99)
臨床検査	3 (2.97)
体重増加	1 (0.99)
血中HIV－RNA増加	1 (0.99)
肝酵素上昇	1 (0.99)

表20. 組合№8

オデフシィ単剤例の
患者背景別副作用発現割合

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 割合(%)	解析結果 (Fisher)
計		82	15	32	18.29%	
性別	男	81	15	32	18.52%	P=1.000
	女	1			0.00%	
年齢	≤14歳	0			–	P=1.000
	15歳 ≤ ≤64歳	77	14	31	18.18%	
	65歳 ≤	5	1	1	20.00%	
人種	日本人	77	11	21	14.29%	P=0.003 **
	その他	5	4	11	80.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	41	3	3	7.32%	P=0.020 *
	有	41	12	29	29.27%	
合併症有無	無	25	3	3	12.00%	P=0.530
	有	54	11	28	20.37%	
	不明・未記載	3	1	1	33.33%	
合併症腎障害	無	76	13	27	17.11%	P=0.448
	有	3	1	4	33.33%	
	不明・未記載	3	1	1	33.33%	
合併症肝障害	無	65	14	31	21.54%	P=0.063
	有	14			0.00%	
	肝炎	9			0.00%	–
	不明・未記載	3	1	1	33.33%	
血友病	無	77	14	31	18.18%	P=1.000
	有	2			0.00%	
	A	2			0.00%	–
	B	0			–	
	不明・未記載	3	1	1	33.33%	
既往歴有無	無	36	3	3	8.33%	P=0.284
	有	31	6	9	19.35%	
	不明・未記載	15	6	20	40.00%	
アレルギーの有無	無	66	11	24	16.67%	P=0.716
	有	15	3	3	20.00%	
	不明・未記載	1	1	5	100.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギーの内容は特に限定せず集計した。

表21. 組合№8

オデフシ単剤例の
副作用発現状況

調査施設数	13
調査症例数	82
副作用等の発現症例数	15 (18.29%)
副作用等の発現件数	32
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	4 (4.88)
結膜炎	1 (1.22)
ヘルペスウイルス感染	1 (1.22)
梅毒	3 (3.66)
口腔ヘルペス	1 (1.22)
COVID-19	1 (1.22)
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびポリープを含む)	1 (1.22)
結腸癌	1 (1.22)
免疫系障害	1 (1.22)
季節性アレルギー	1 (1.22)
代謝および栄養障害	3 (3.66)
高尿酸血症	1 (1.22)
脂質異常症	1 (1.22)
高脂血症	1 (1.22)
精神障害	1 (1.22)
不眠症	1 (1.22)
神経系障害	2 (2.44)
片頭痛	1 (1.22)
ヘルペス後神経痛	1 (1.22)
眼障害	1 (1.22)
ドライアイ	1 (1.22)
血管障害	2 (2.44)
高血圧	2 (2.44)
胃腸障害	5 (6.10)
腸炎	1 (1.22)
胃炎	2 (2.44)
痔核	1 (1.22)
口内炎	2 (2.44)
皮膚および皮下組織障害	5 (6.10)
ざ瘡	1 (1.22)
皮膚乾燥	1 (1.22)
過角化	1 (1.22)
掌跖角皮症	1 (1.22)
アンドロゲン性脱毛症	1 (1.22)
筋骨格系および結合組織障害	1 (1.22)
筋肉痛	1 (1.22)
臨床検査	2 (2.44)
血中トリグリセリド増加	1 (1.22)
低比重リポ蛋白増加	1 (1.22)

表22. 組合№9

デシコビ+ピフェルトロ併用例の
患者背景別副作用発現割合

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 割合(%)	解析結果 (Fisher)
計		59	16	22	27.12%	
性別	男	59	16	22	27.12%	-
	女	0			-	
年齢	≤14歳	0			-	P=0.556
	15歳≤ ≤64歳	56	16	22	28.57%	
	65歳≤	3			0.00%	
人種	日本人	57	15	20	26.32%	P=0.472
	その他	2	1	2	50.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	23	3	4	13.04%	P=0.073
	有	36	13	18	36.11%	
合併症有無	無	20	4	4	20.00%	P=0.746
	有	34	9	14	26.47%	
	不明・未記載	5	3	4	60.00%	
合併症腎障害	無	52	12	17	23.08%	P=0.427
	有	2	1	1	50.00%	
	不明・未記載	5	3	4	60.00%	
合併症肝障害	無	46	13	18	28.26%	P=0.176
	有	8			0.00%	
	肝炎	7			0.00%	-
	不明・未記載	5	3	4	60.00%	
血友病	無	54	13	18	24.07%	-
	有	0			-	
	A	0			-	-
	B	0			-	
	不明・未記載	5	3	4	60.00%	
既往歴有無	無	25	5	7	20.00%	P=0.393
	有	10	4	6	40.00%	
	不明・未記載	24	7	9	29.17%	
アレルギーの有無	無	54	15	20	27.78%	P=1.000
	有	4	1	2	25.00%	
	不明・未記載	1			0.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギーの内容は特に限定せず集計した。

表23. 組合№9

デシコピ+ピフェルトロ併用例の
副作用発現状況

調査施設数	14
調査症例数	59
副作用等の発現症例数	16 (27.12%)
副作用等の発現件数	22
副作用等の種類	
例数(%)	
感染症および寄生虫症	4 (6.78)
蜂巣炎	1 (1.69)
陰部ヘルペス	1 (1.69)
C型肝炎	1 (1.69)
COVID-19	1 (1.69)
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびポリープを含む)	1 (1.69)
肛門性器疣贅	1 (1.69)
内分泌障害	1 (1.69)
グレーブス病	1 (1.69)
代謝および栄養障害	3 (5.08)
糖尿病	1 (1.69)
高トリグリセリド血症	1 (1.69)
高尿酸血症	1 (1.69)
高脂血症	1 (1.69)
精神障害	2 (3.39)
初期不眠症	1 (1.69)
不眠症	1 (1.69)
神経系障害	1 (1.69)
頭痛	1 (1.69)
眼障害	1 (1.69)
黄視症	1 (1.69)
血管障害	1 (1.69)
高血圧	1 (1.69)
胃腸障害	2 (3.39)
胃ポリープ	1 (1.69)
嘔吐	1 (1.69)
皮膚および皮下組織障害	1 (1.69)
脱毛症	1 (1.69)
一般・全身障害および投与部位の状態	2 (3.39)
異常感	1 (1.69)
倦怠感	2 (3.39)
臨床検査	1 (1.69)
体重増加	1 (1.69)

表24. 組合No.10

エジュラント+ボカブリア併用例の
患者背景別副作用発現割合

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 割合(%)	解析結果 (Fisher)
計		7			0.00%	
性別	男	7			0.00%	-
	女	0			-	
年齢	≤14歳	0			-	-
	15歳 ≤ ≤64歳	7			0.00%	
	65歳 ≤	0			-	
人種	日本人	7			0.00%	-
	その他	0			-	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	4			0.00%	-
	有	3			0.00%	
合併症有無	無	1			0.00%	-
	有	6			0.00%	
合併症腎障害	無	6			0.00%	-
	有	1			0.00%	
合併症肝障害	無	7			0.00%	-
	有	0			-	
	肝炎	0			-	-
血友病	無	7			0.00%	-
	有	0			-	
	A	0			-	-
	B	0			-	
既往歴有無	無	5			0.00%	-
	有	2			0.00%	
アレルギーの有無	無	5			0.00%	-
	有	2			0.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギーの内容は特に限定せず集計した。

表25. 組合№10

エジュラント+ボカブリア併用例の
副作用発現状況

調査施設数	4
調査症例数	7
副作用等の発現症例数	0 (0.00%)
副作用等の発現件数	0
副作用等の種類	例数(%)

表26. 組合No.13

リカムビス+ボカブリア併用例の
患者背景別副作用発現割合

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 割合(%)	解析結果 (Fisher)
計		5	1	1	20.00%	
性別	男	5	1	1	20.00%	-
	女	0			-	
年齢	≤14歳	0			-	-
	15歳 ≤ ≤64歳	5	1	1	20.00%	
	65歳 ≤	0			-	
人種	日本人	5	1	1	20.00%	-
	その他	0			-	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	3			0.00%	P=0.400
	有	2	1	1	50.00%	
合併症有無	無	1			0.00%	P=1.000
	有	4	1	1	25.00%	
合併症腎障害	無	5	1	1	20.00%	-
	有	0			-	
合併症肝障害	無	5	1	1	20.00%	-
	有	0			-	
	肝炎	0			-	
血友病	無	5	1	1	20.00%	-
	有	0			-	
	A	0			-	-
	B	0			-	
既往歴有無	無	3	1	1	33.33%	P=1.000
	有	2			0.00%	
アレルギーの有無	無	3	1	1	33.33%	P=1.000
	有	2			0.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギーの内容は特に限定せず集計した。

表27. 組合№13

リカムビス＋ボカブリア併用例の
副作用発現状況

調査施設数	3
調査症例数	5
副作用等の発現症例数	1 (20.00%)
副作用等の発現件数	1
副作用等の種類	
例数(%)	
臨床検査	1 (20.00)
B型肝炎DNA増加	1 (20.00)

表28. 組合No.15

ジェラルカ単剤例の
患者背景別副作用発現割合

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 割合(%)	解析結果 (Fisher)
計		52	4	5	7.69%	
性別	男	48	4	5	8.33%	P=1.000
	女	4			0.00%	
年齢	≤14歳	0			–	P=0.569
	15歳 ≤ ≤64歳	37	2	3	5.41%	
	65歳 ≤	15	2	2	13.33%	
人種	日本人	50	4	5	8.00%	P=1.000
	その他	2			0.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	15			0.00%	P=0.311
	有	37	4	5	10.81%	
合併症有無	無	13			0.00%	P=0.561
	有	39	4	5	10.26%	
合併症腎障害	無	32	3	4	9.38%	P=1.000
	有	20	1	1	5.00%	
合併症肝障害	無	43	1	1	2.33%	P=0.014 *
	有	9	3	4	33.33%	
	肝炎	4	1	1	25.00%	–
血友病	無	48	3	3	6.25%	P=0.281
	有	4	1	2	25.00%	
	A	4	1	2	25.00%	–
	B	0			–	
既往歴有無	無	24			0.00%	P=0.234
	有	24	3	4	12.50%	
	不明・未記載	4	1	1	25.00%	
アレルギーの有無	無	42	3	4	7.14%	P=1.000
	有	10	1	1	10.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギーの内容は特に限定せず集計した。

表29. 組合№15

ジャルカ単剤例の
副作用発現状況

調査施設数	18
調査症例数	52
副作用等の発現症例数	4 (7.69%)
副作用等の発現件数	5
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	1 (1.92)
急性副鼻腔炎	1 (1.92)
代謝および栄養障害	2 (3.85)
高尿酸血症	2 (3.85)
血管障害	1 (1.92)
高血圧	1 (1.92)
臨床検査	1 (1.92)
体重増加	1 (1.92)

表30. 組合№24 デシコビ+プレジコビックス+アイセントレス600併用例の
患者背景別副作用発現割合

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 割合(%)	解析結果 (Fisher)
計		3	1	1	33.33%	
性別	男	3	1	1	33.33%	-
	女	0			-	
年齢	≤14歳	0			-	-
	15歳≤ ≤64歳	3	1	1	33.33%	
	65歳≤	0			-	
人種	日本人	3	1	1	33.33%	-
	その他	0			-	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	2	1	1	50.00%	P=1.000
	有	1			0.00%	
合併症有無	無	1	1	1	100.00%	P=0.333
	有	2			0.00%	
合併症腎障害	無	3	1	1	33.33%	-
	有	0			-	
合併症肝障害	無	3	1	1	33.33%	-
	有	0			-	
	肝炎	0			-	
血友病	無	3	1	1	33.33%	-
	有	0			-	
	A	0			-	-
	B	0			-	
既往歴有無	無	3	1	1	33.33%	-
	有	0			-	
アレルギーの有無	無	3	1	1	33.33%	-
	有	0			-	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギーの内容は特に限定せず集計した。

表31. 組合№24

デシコビ+プレジコビックス+アイセントレス600併用例の
副作用発現状況

調査施設数	2
調査症例数	3
副作用等の発現症例数	1 (33.33%)
副作用等の発現件数	1
副作用等の種類	例数(%)
代謝および栄養障害	1 (33.33)
糖尿病	1 (33.33)

表32. 組合No.16

スタリビルド単剤例の
患者背景別副作用発現割合

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 割合(%)	解析結果 (Fisher)
計		536	62	83	11.57%	
性別	男	522	62	83	11.88%	P=0.388
	女	14			0.00%	
年齢	≤14歳	0			–	P=1.000
	15歳 ≤ ≤64歳	525	61	82	11.62%	
	65歳 ≤	11	1	1	9.09%	
人種	日本人	506	56	76	11.07%	P=0.142
	その他	30	6	7	20.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	368	24	33	6.52%	P=0.000 **
	有	168	38	50	22.62%	
合併症有無	無	247	7	7	2.83%	P=0.000 **
	有	281	54	75	19.22%	
	不明・未記載	8	1	1	12.50%	
合併症腎障害	無	506	57	77	11.26%	P=0.305
	有	22	4	5	18.18%	
	不明・未記載	8	1	1	12.50%	
合併症肝障害	無	442	37	50	8.37%	P=0.000 **
	有	86	24	32	27.91%	
	肝炎	50	10	12	20.00%	–
	不明・未記載	8	1	1	12.50%	
血友病	無	523	59	76	11.28%	P=0.104
	有	5	2	6	40.00%	
	A	5	2	6	40.00%	–
	B	0			–	
	不明・未記載	8	1	1	12.50%	
既往歴有無	無	241	12	17	4.98%	P=0.000 **
	有	189	47	63	24.87%	
	不明・未記載	106	3	3	2.83%	
アレルギーの有無	無	416	32	45	7.69%	P=0.000 **
	有	99	28	36	28.28%	
	不明・未記載	21	2	2	9.52%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギーの内容は特に限定せず集計した。

表33. 組合№16

スタリビルド単剤例の
副作用発現状況

調査施設数	30
調査症例数	536
副作用等の発現症例数	62 (11.57%)
副作用等の発現件数	83
副作用等の種類	
例数(%)	
感染症および寄生虫症	2 (0.37)
進行性多巣性白質脳症	1 (0.19)
潜伏結核	1 (0.19)
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびポリープを含む)	2 (0.37)
びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	1 (0.19)
胆嚢癌	1 (0.19)
免疫系障害	3 (0.56)
免疫再構築炎症反応症候群	3 (0.56)
代謝および栄養障害	7 (1.31)
高トリグリセリド血症	3 (0.56)
低コレステロール血症	1 (0.19)
低リン血症	1 (0.19)
脂質異常症	2 (0.37)
高クレアチニン血症	1 (0.19)
精神障害	2 (0.37)
悪夢	2 (0.37)
神経系障害	3 (0.56)
浮動性めまい	1 (0.19)
顔面麻痺	1 (0.19)
記憶障害	1 (0.19)
心臓障害	3 (0.56)
急性心筋梗塞	1 (0.19)
狭心症	1 (0.19)
動悸	1 (0.19)
血管障害	1 (0.19)
高血圧	1 (0.19)
胃腸障害	13 (2.43)
腹部膨満	3 (0.56)
下痢	5 (0.93)
胃腸障害	2 (0.37)
悪心	2 (0.37)
食道潰瘍	1 (0.19)
嘔吐	1 (0.19)
肝胆道系障害	4 (0.75)
肝機能異常	4 (0.75)
皮膚および皮下組織障害	9 (1.68)
脱毛症	1 (0.19)
湿疹	2 (0.37)
皮下出血	1 (0.19)
そう痒症	1 (0.19)
発疹	5 (0.93)
腎および尿路障害	6 (1.12)
腎尿細管障害	2 (0.37)
腎機能障害	4 (0.75)
一般・全身障害および投与部位の状態	3 (0.56)
末梢性浮腫	1 (0.19)
発熱	2 (0.37)
臨床検査	16 (2.99)
アラニンアミトランスフェラーゼ増加	1 (0.19)
アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ増加	1 (0.19)
尿中β2ミクログロブリン増加	6 (1.12)
血中クレアチニン増加	6 (1.12)
血中トリグリセリド増加	1 (0.19)
血中尿素増加	1 (0.19)
リンパ球数減少	1 (0.19)
好中球数減少	1 (0.19)
体重増加	1 (0.19)
白血球数減少	1 (0.19)
腎機能検査異常	1 (0.19)
傷害、中毒および処置合併症	1 (0.19)
肋骨骨折	1 (0.19)

表34. 抗HIV薬別副作用・感染症の発現状況一覧表^{注)}
注) 医師報告事象による集計(因果関係が不明なものも含む)

対象疾病名	核酸系逆転写酵素阻害剤										非核酸系逆転写酵素阻害剤										プロテアーゼ阻害剤										インテグラーゼ阻害剤		CCR5阻害剤	核酸系逆転写酵素阻害剤、インテグラーゼ阻害剤		核酸系逆転写酵素阻害剤、非核酸系逆転写酵素阻害剤		非核酸系逆転写酵素阻害剤、インテグラーゼ阻害剤		全体
	イトリビル	ダビラフィン	エビル	ネリナ	コビル	ダビラフィン	ビラド	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル	エビル		エビル	エビル					
調査症例数	2294	914	3643	2037	645	797	1039	1709	58	4135	1817	247	2159	87	231	84	5	3388	1318	1446	1527	391	145	1516	146	1653	1996	221	7	74	534	875	733	1214	450	77	83	59	108	10576
副作用等の出現症例数	939	352	1486	1080	326	345	311	487	10	1143	297	141	1056	18	48	23	1	1312	729	764	710	157	42	415	20	274	447	38	1	17	70	263	86	165	60	14	18	4	21	4833
副作用発生率(%)	40.93%	38.51%	40.79%	53.02%	50.51%	43.29%	29.92%	28.50%	17.24%	27.64%	16.35%	57.09%	48.91%	20.69%	20.78%	27.38%	20.00%	38.73%	55.31%	52.84%	46.50%	40.15%	28.92%	27.37%	13.70%	16.58%	22.50%	17.19%	22.92%	13.11%	30.06%	11.73%	13.55%	13.33%	18.18%	21.69%	6.78%	19.44%	45.70%	
副作用発生率(%)	40.93%	38.51%	40.79%	53.02%	50.51%	43.29%	29.92%	28.50%	17.24%	27.64%	16.35%	57.09%	48.91%	20.69%	20.78%	27.38%	20.00%	38.73%	55.31%	52.84%	46.50%	40.15%	28.92%	27.37%	13.70%	16.58%	22.50%	17.19%	22.92%	13.11%	30.06%	11.73%	13.55%	13.33%	18.18%	21.69%	6.78%	19.44%	45.70%	
副作用発生率(%)	40.93%	38.51%	40.79%	53.02%	50.51%	43.29%	29.92%	28.50%	17.24%	27.64%	16.35%	57.09%	48.91%	20.69%	20.78%	27.38%	20.00%	38.73%	55.31%	52.84%	46.50%	40.15%	28.92%	27.37%	13.70%	16.58%	22.50%	17.19%	22.92%	13.11%	30.06%	11.73%	13.55%	13.33%	18.18%	21.69%	6.78%	19.44%	45.70%	
副作用発生率(%)	40.93%	38.51%	40.79%	53.02%	50.51%	43.29%	29.92%	28.50%	17.24%	27.64%	16.35%	57.09%	48.91%	20.69%	20.78%	27.38%	20.00%	38.73%	55.31%	52.84%	46.50%	40.15%	28.92%	27.37%	13.70%	16.58%	22.50%	17.19%	22.92%	13.11%	30.06%	11.73%	13.55%	13.33%	18.18%	21.69%	6.78%	19.44%	45.70%	
副作用発生率(%)	40.93%	38.51%	40.79%	53.02%	50.51%	43.29%	29.92%	28.50%	17.24%	27.64%	16.35%	57.09%	48.91%	20.69%	20.78%	27.38%	20.00%	38.73%	55.31%	52.84%	46.50%	40.15%	28.92%	27.37%	13.70%	16.58%	22.50%	17.19%	22.92%	13.11%	30.06%	11.73%	13.55%	13.33%	18.18%	21.69%	6.78%	19.44%	45.70%	
副作用発生率(%)	40.93%	38.51%	40.79%	53.02%	50.51%	43.29%	29.92%	28.50%	17.24%	27.64%	16.35%	57.09%	48.91%	20.69%	20.78%	27.38%	20.00%	38.73%	55.31%	52.84%	46.50%	40.15%	28.92%	27.37%	13.70%	16.58%	22.50%	17.19%	22.92%	13.11%	30.06%	11.73%	13.55%	13.33%	18.18%	21.69%	6.78%	19.44%	45.70%	
副作用発生率(%)	40.93%	38.51%	40.79%	53.02%	50.51%	43.29%	29.92%	28.50%	17.24%	27.64%	16.35%	57.09%	48.91%	20.69%																										

表34. 抗HIV薬別副作用・感染症の発現状況一覧表^{注)}
注) 医師報告事象による集計(因果関係が不明なものも含む)

[illegible]

表34. 抗HIV薬別副作用・感染症の発現状況一覧表^{注)}
注) 医師報告事象による集計(因果関係が不明なものも含む)

	核酸系逆転写酵素阻害剤										非核酸系逆転写酵素阻害剤										プロテアーゼ阻害剤										インテグラーゼ阻害剤										CCR5阻害剤	核酸系逆転写酵素阻害剤、インテグラーゼ阻害剤					核酸系逆転写酵素阻害剤、非核酸系逆転写酵素阻害剤		非核酸系逆転写酵素阻害剤、インテグラーゼ阻害剤		核酸系逆転写酵素阻害剤、インテグラーゼ阻害剤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
対象薬名	イトリビル	ダビラビル	エタビル	エタビル	コビシビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダビラビル	ダ

表34. 抗HIV薬別副作用・感染症の発現状況一覧表^{注)}
注) 医師報告事象による集計(因果関係が不明なものも含む)

[illegible]

表34. 抗HIV薬別副作用・感染症の発現状況一覧表^{注)}
注) 医師報告事象による集計(因果関係が不明なものも含む)

[illegible]

表34. 抗HIV薬別副作用・感染症の発現状況一覧表^(注)
 (注) 医師報告事象による集計(因果関係が不明なものも含む)

[illegible]

表34. 抗HIV薬別副作用・感染症の発現状況一覧表^{注)}
注) 医師報告事象による集計(因果関係が不明なものも含む)

[illegible]

表34. 抗HIV薬別副作用・感染症の発現状況一覧表^{注)}
注) 医師報告事象による集計(因果関係が不明なものも含む)

[illegible]

表34. 抗HIV薬別副作用・感染症の発現状況一覧表^{注)}
 注) 医師報告事象による集計(因果関係が不明なものも含む)

[illegible]

表34. 抗HIV薬別副作用・感染症の発現状況一覧表^{注)}
注) 医師報告事象による集計(因果関係が不明なものも含む)

[illegible]

表35. 抗HIV薬別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表^(注)
 (注) 医師報告事象による集計(因果関係が不明なものも含む)

[illegible]

表35. 抗HIV薬別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表^(注)
 (注) 医師報告事象による集計(因果関係が不明なものも含む)

[illegible]

表35. 抗HIV薬別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表^(注)
 (注) 医師報告事象による集計(因果関係が不明なものも含む)

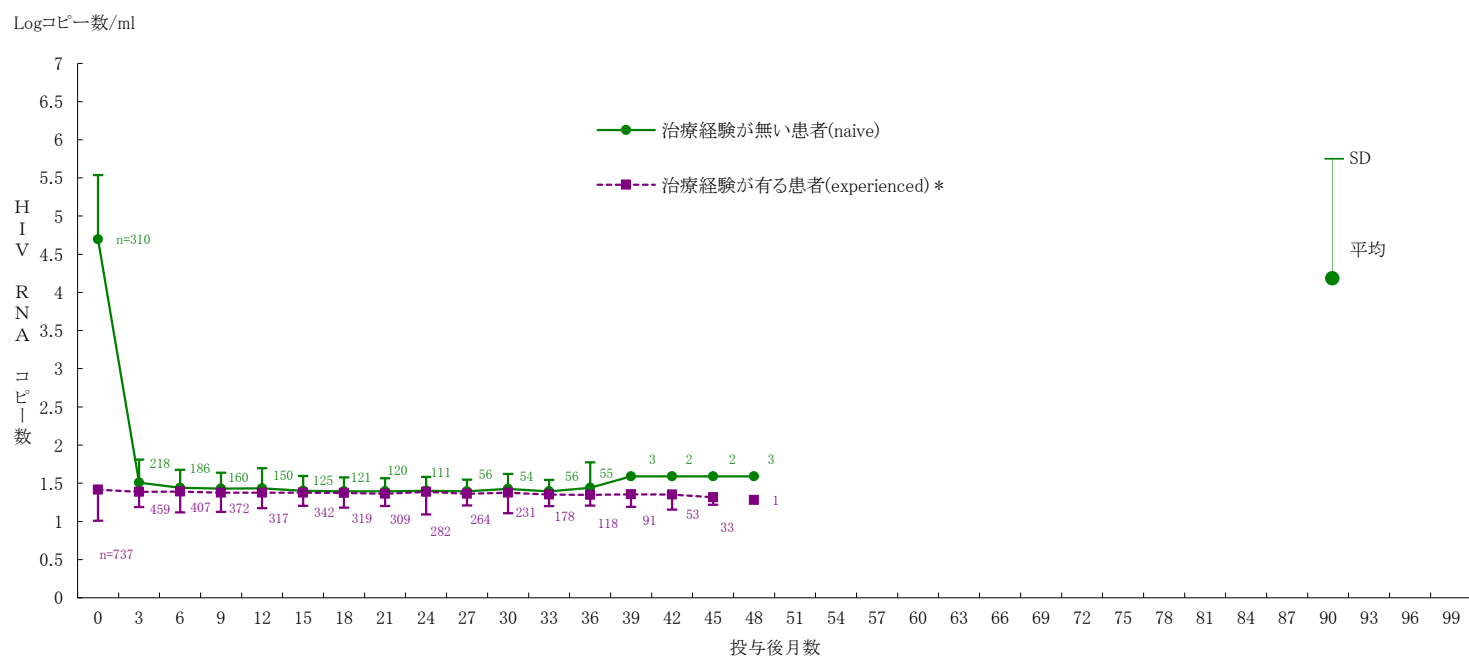
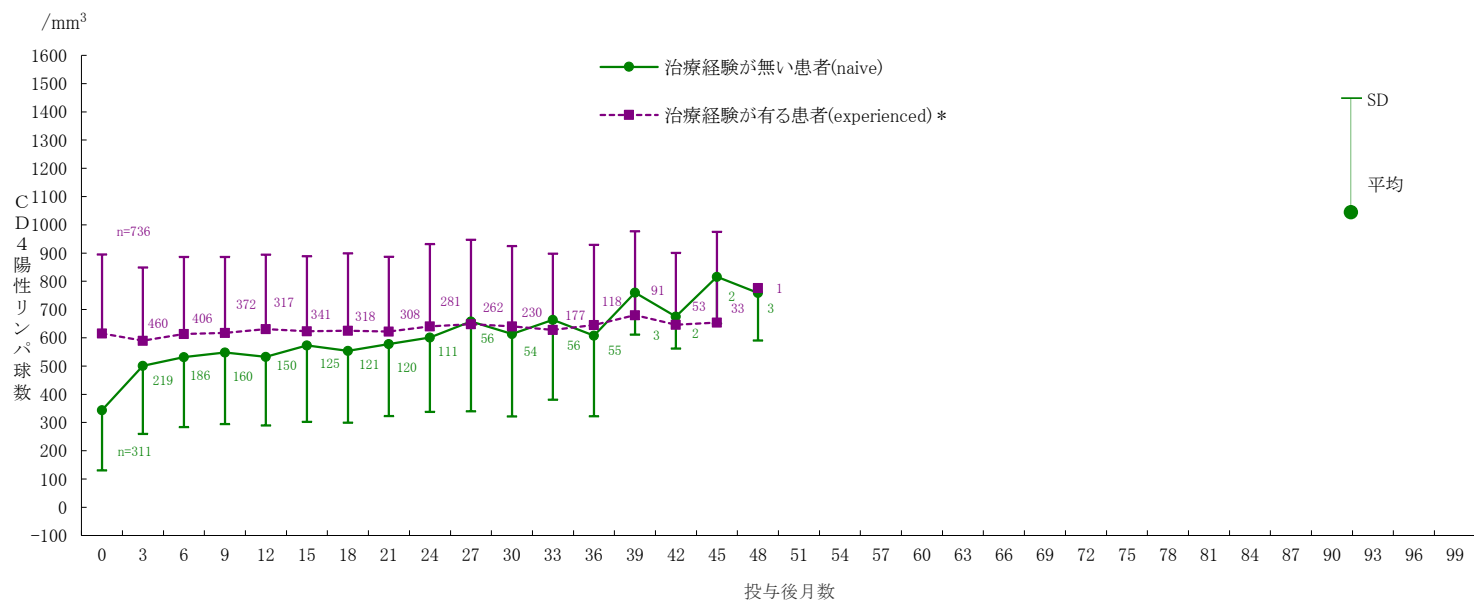
[illegible]

注) 医師報告事象による集計(因果関係が不明なものも含む)

[illegible]

図3. 組合No.1

ビクトルビ単剤例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



※ HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

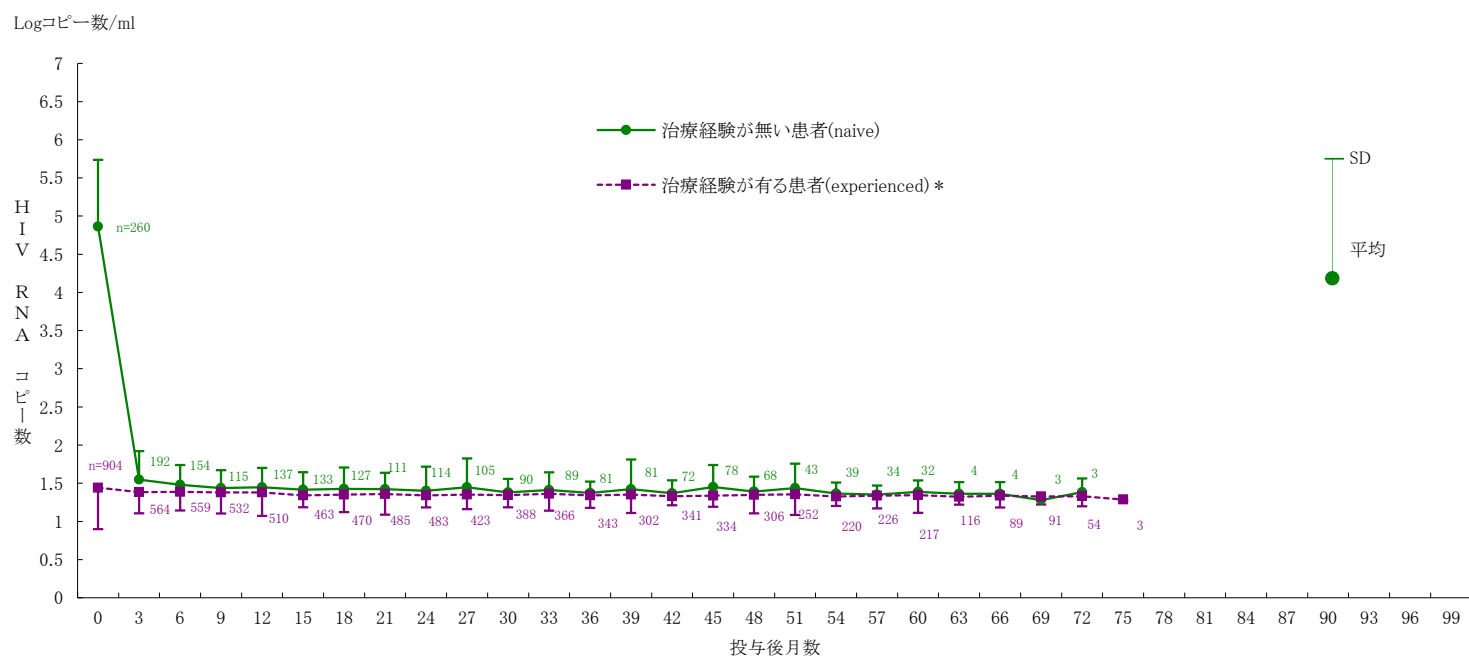
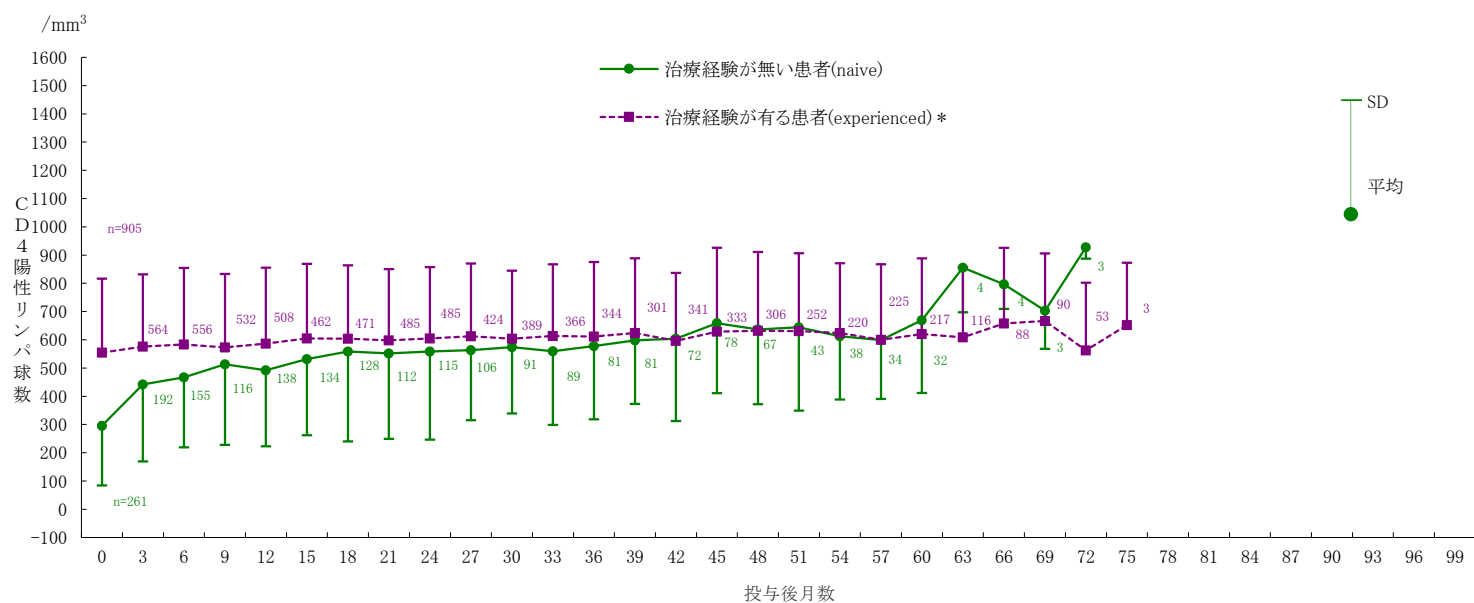
HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

○ 2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤とインテグラーゼ阻害剤の単剤療法である。

図4. 組合No.2

デシコビ+テビケイ併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



※ HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

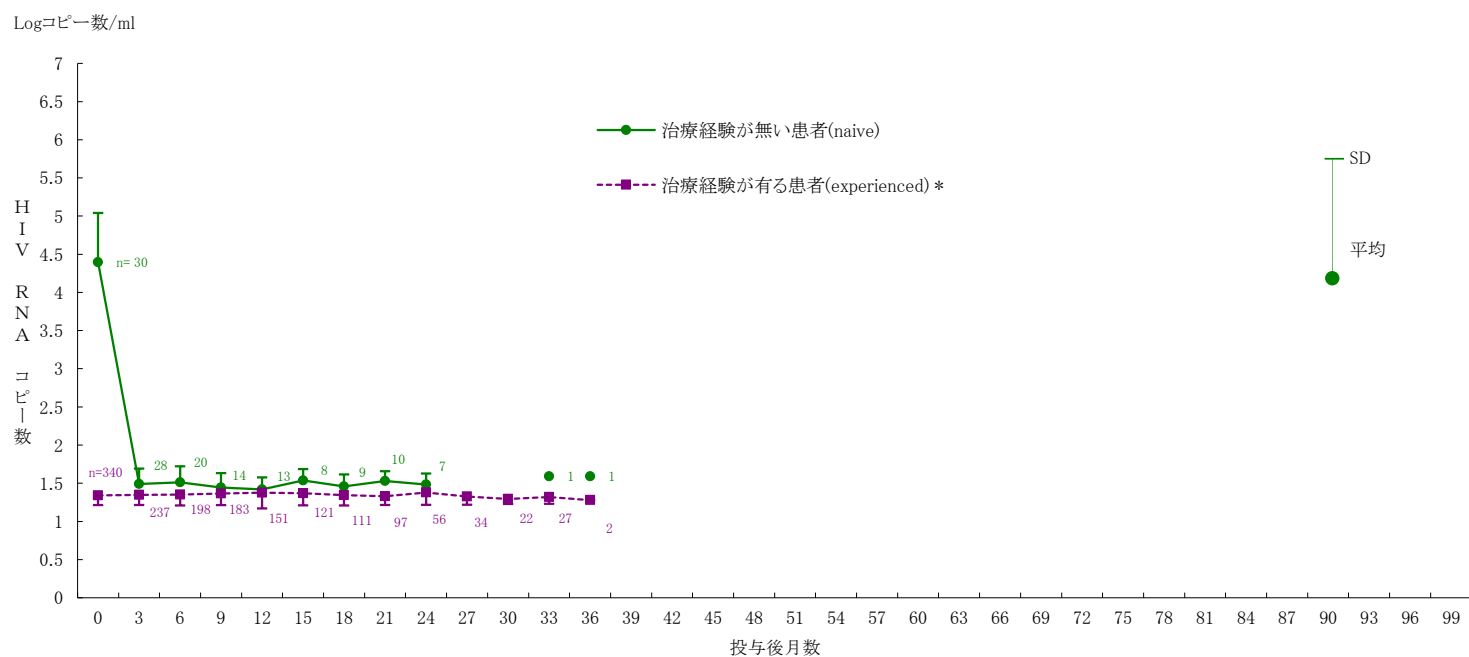
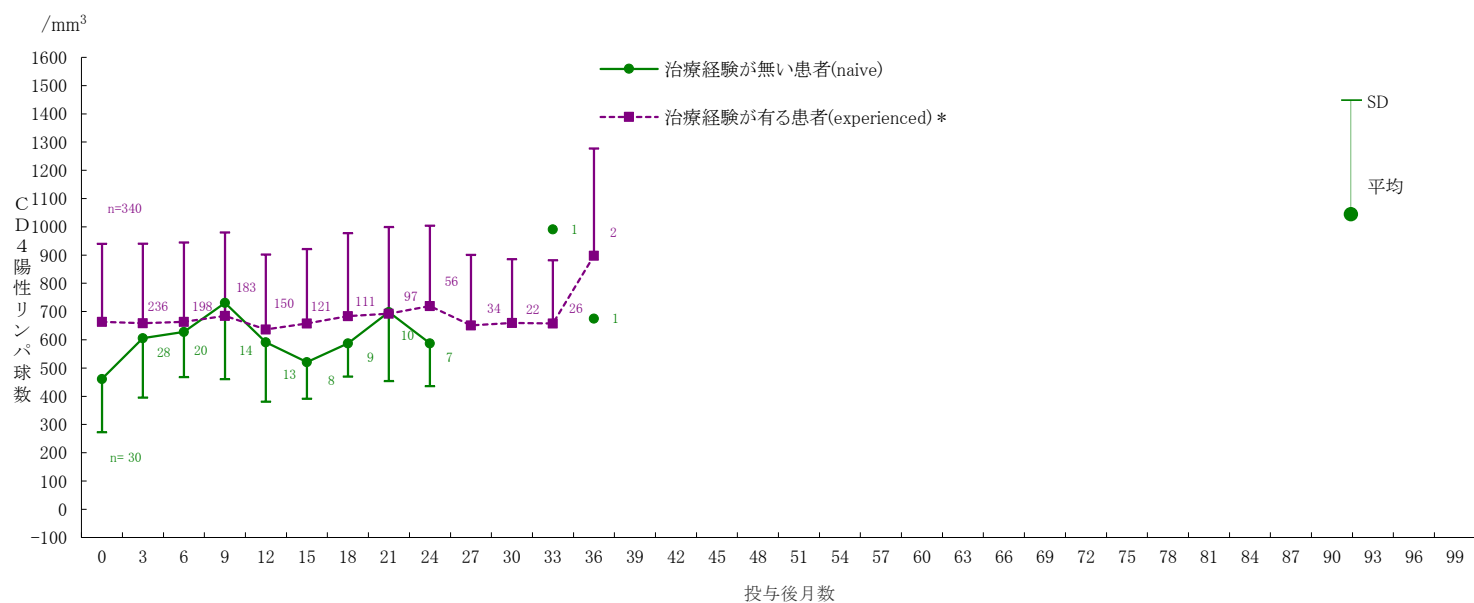
HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

○ 2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤とインテグラーゼ阻害剤1剤の併用療法である。

図5. 組合No.3

ドゥベイト単剤例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



※ HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

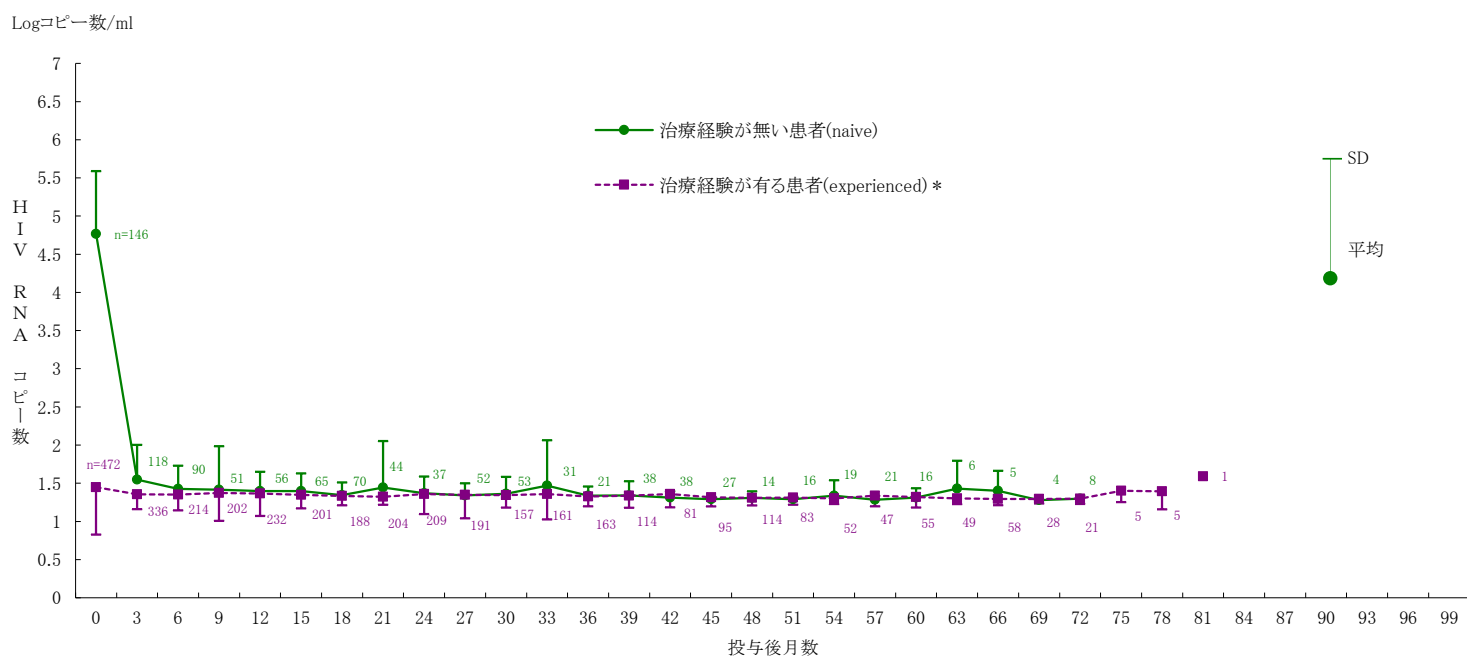
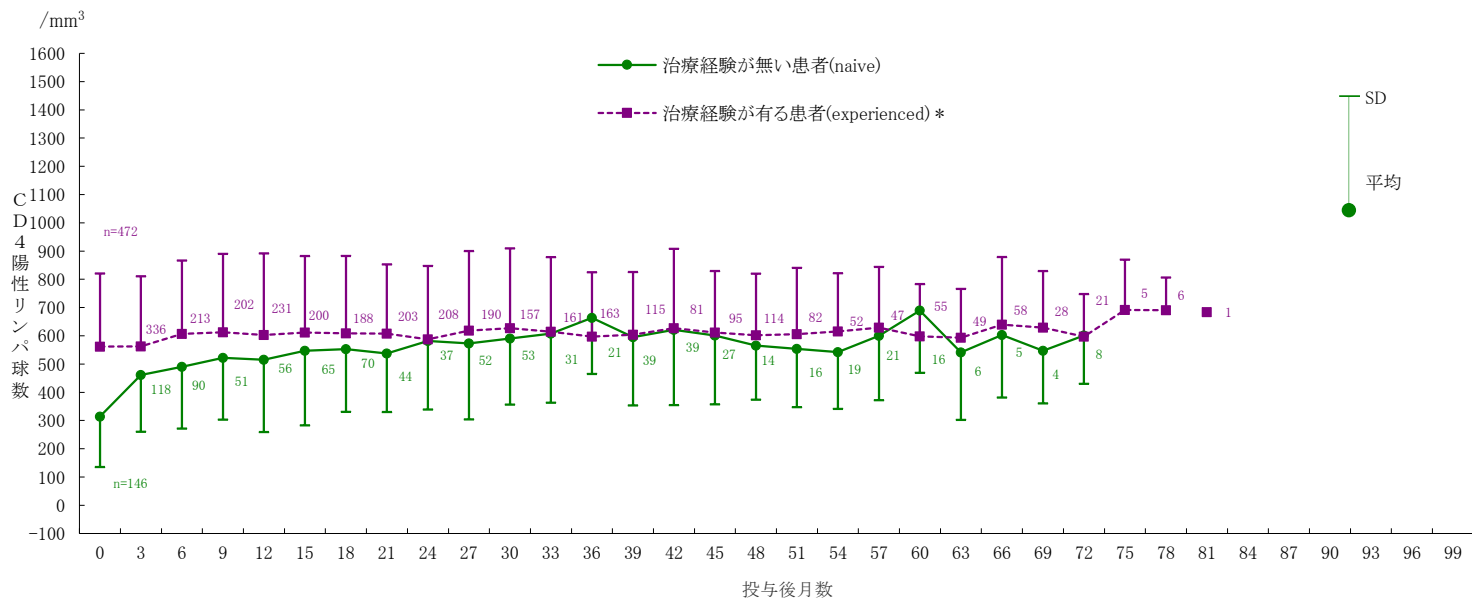
HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

○ 核酸逆転写酵素阻害剤1剤とインテグラーゼ阻害剤の配合剤1剤の単剤療法である。

図6. 組合No.4

ゲンボイヤ単剤例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



※ HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

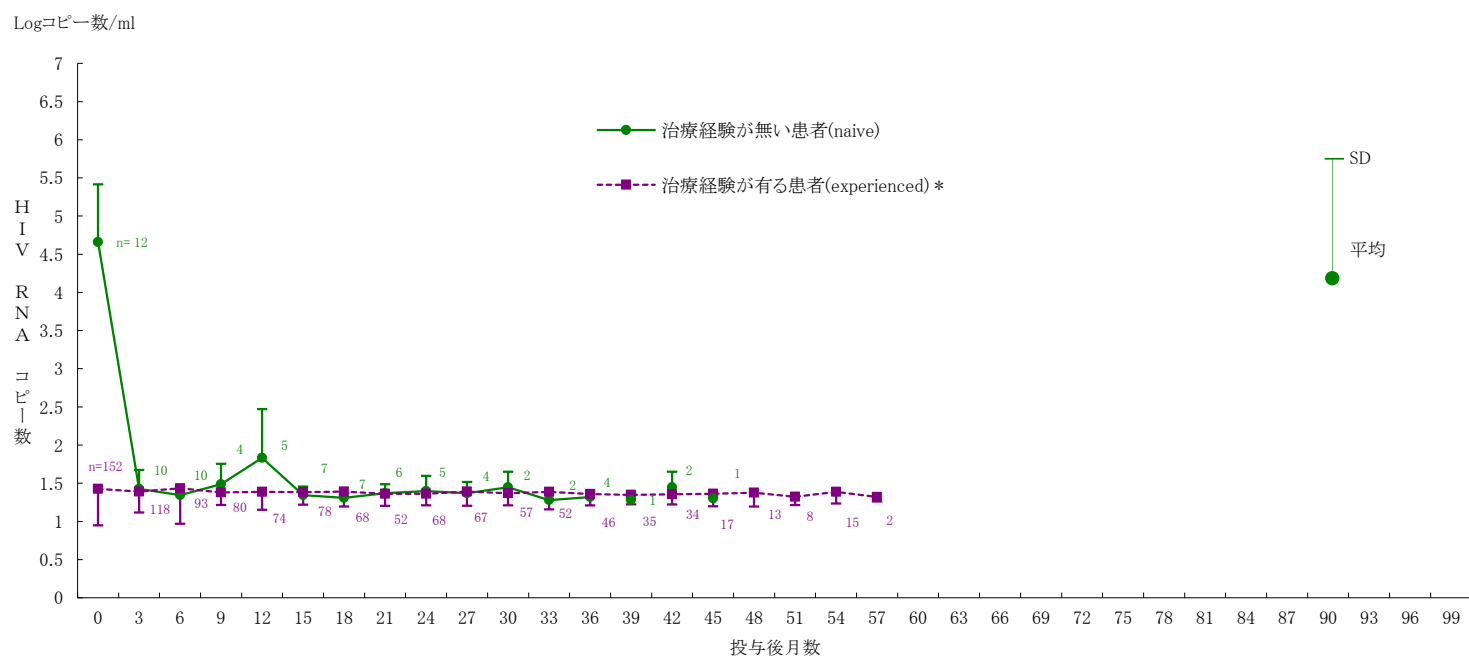
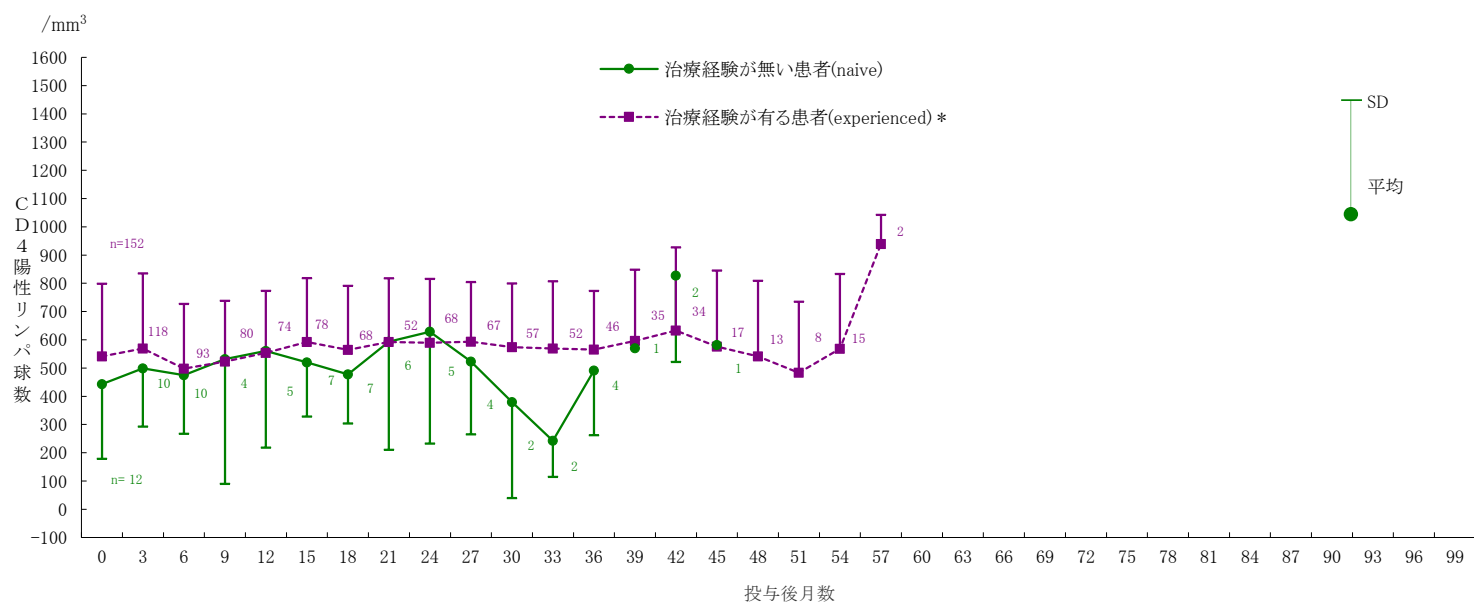
HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

○ 2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤とインテグラーゼ阻害剤とコビスタットの配合剤1剤の単剤療法である。

図7. 組合No.5

デシコビ+アイセントレス600併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



※ HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

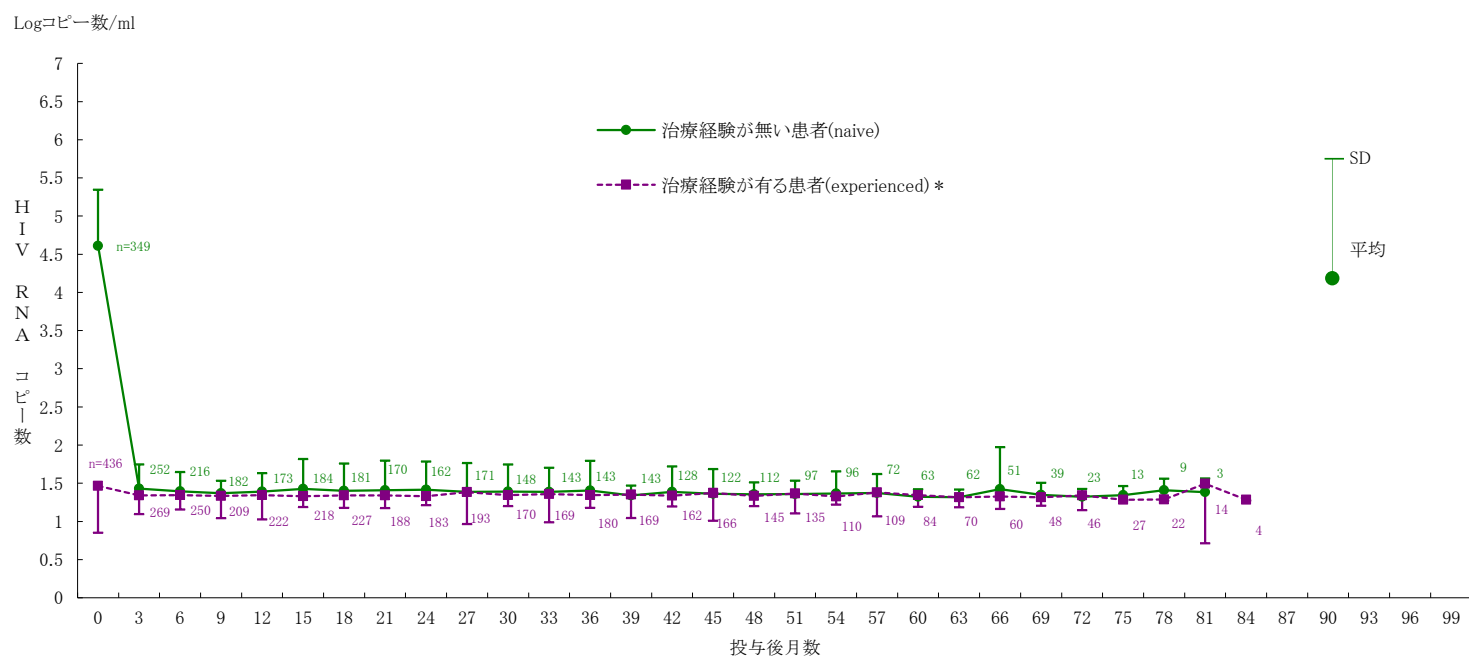
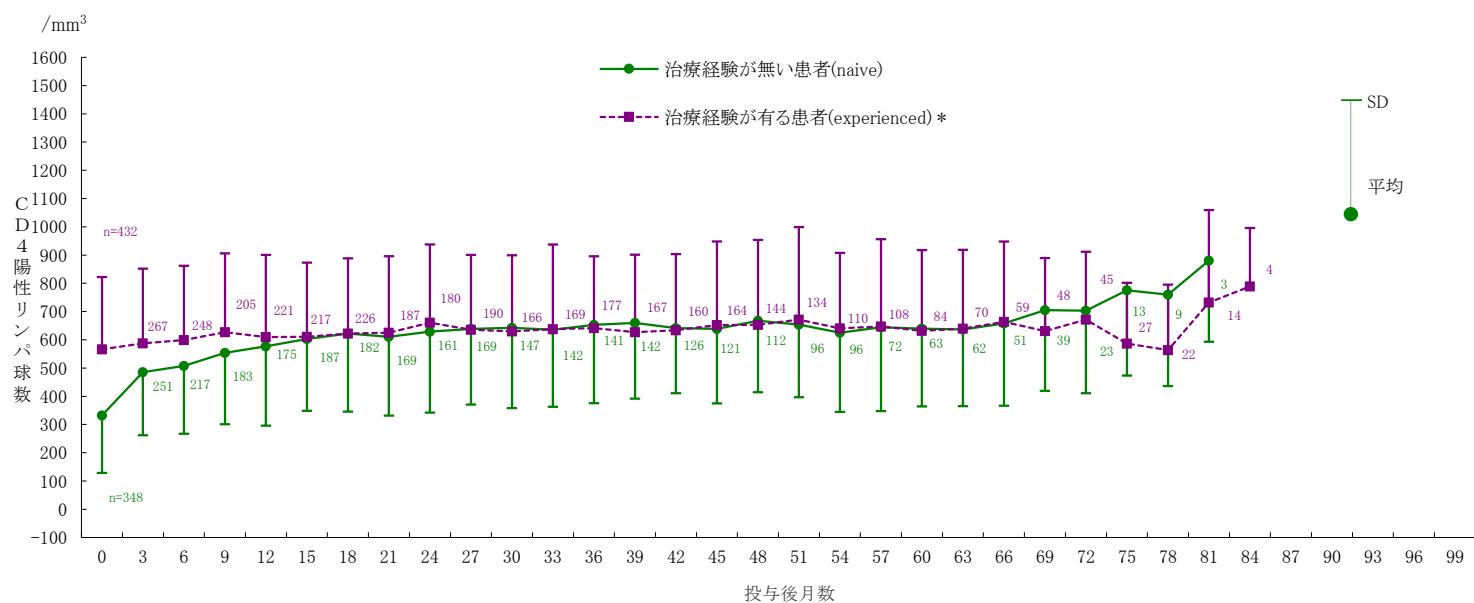
HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

○ 2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤とインテグラーゼ阻害剤1剤の併用療法である。

図8. 組合No.6

トリーメク単剤例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



※ HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

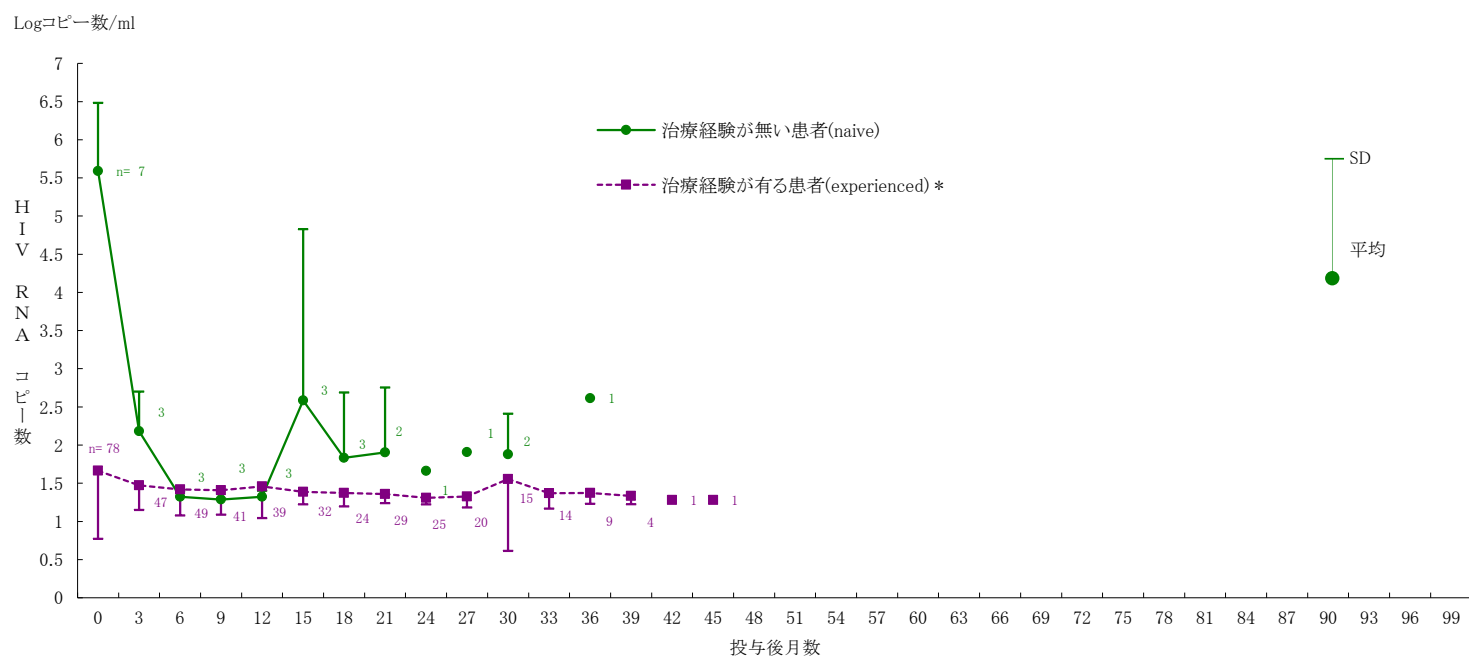
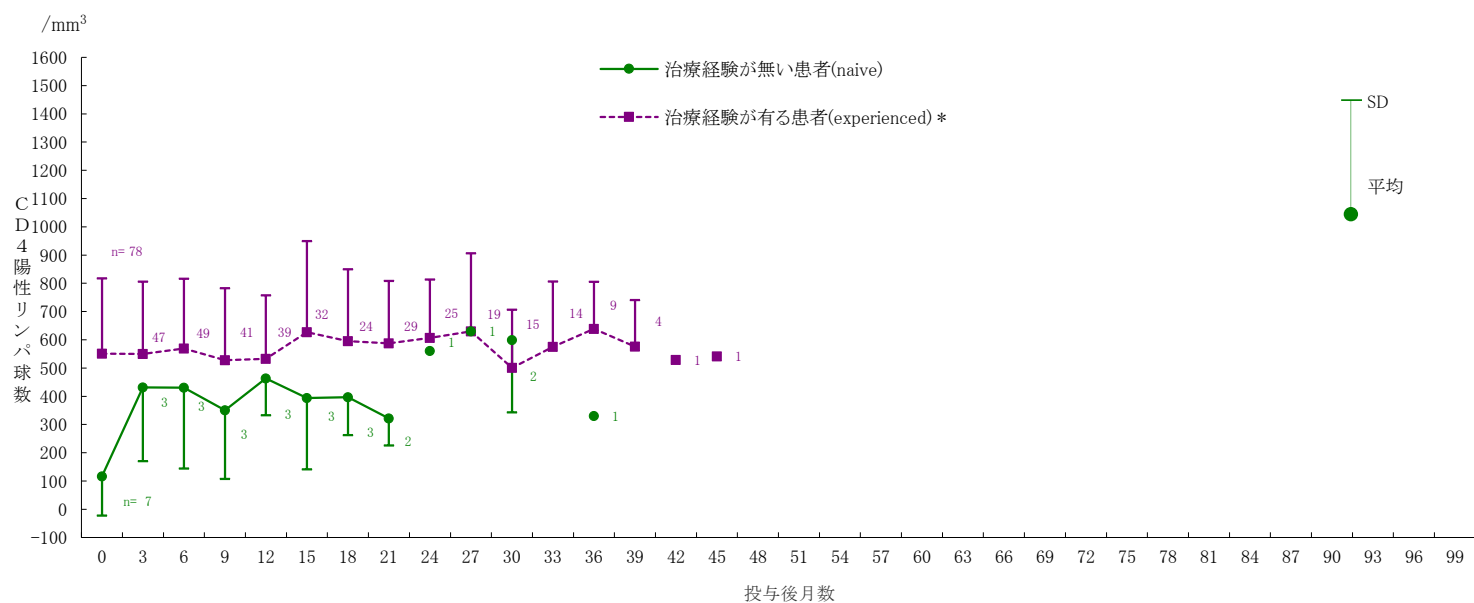
HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

○ 2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤とインテグラーゼ阻害剤の配合剤1剤の単剤療法である。

図9. 組合No.7

シムツーザ単剤例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



※ HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

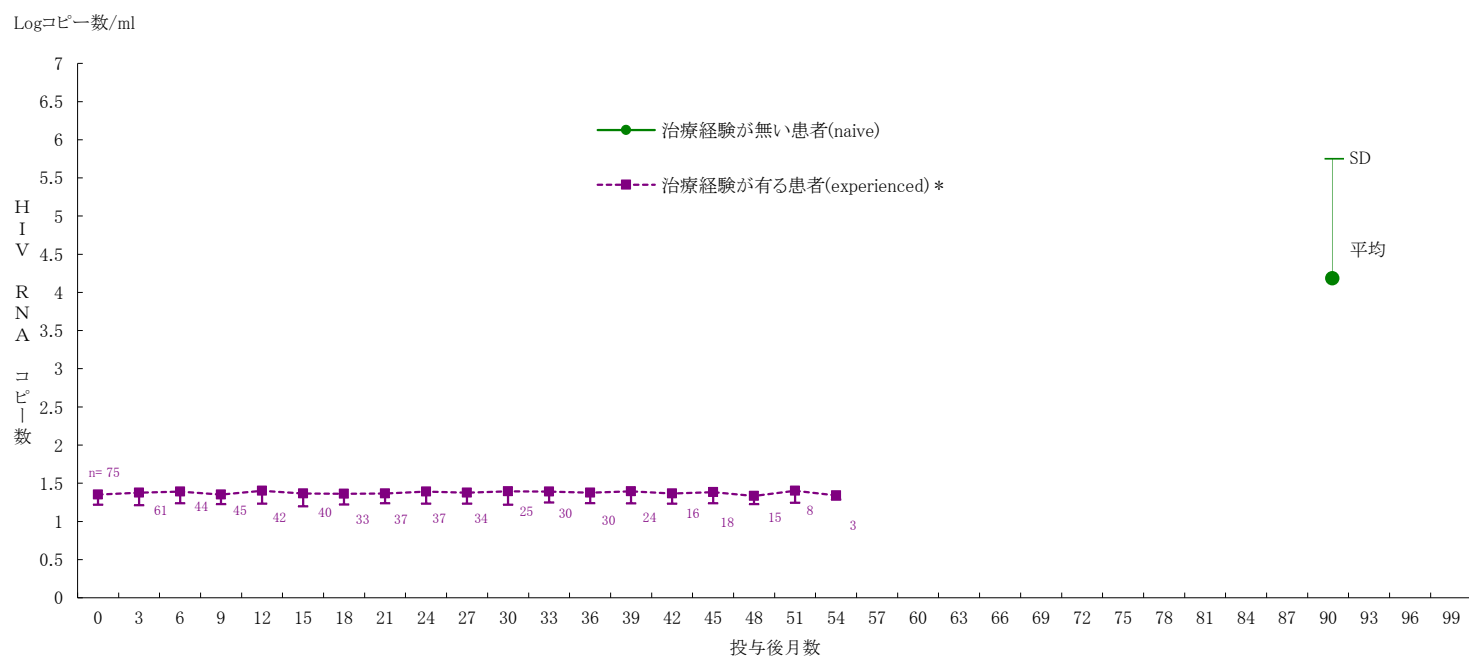
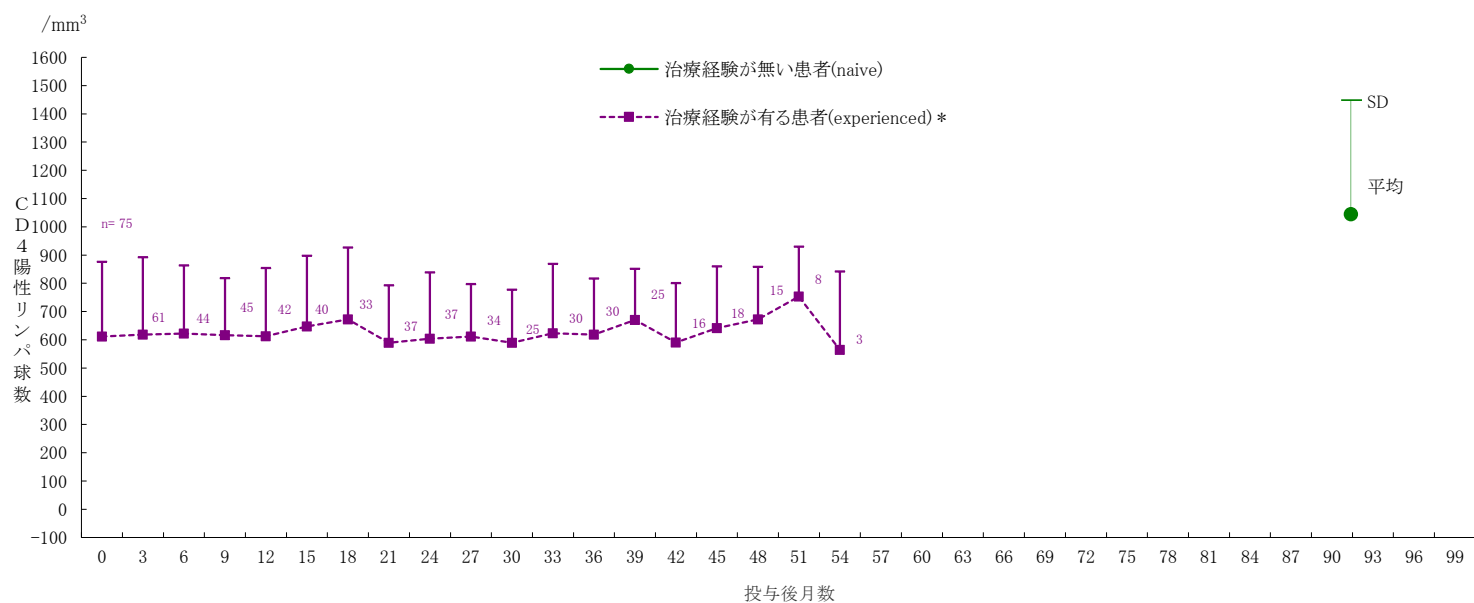
HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

○ 2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤とプロテアーゼ阻害剤とコビスタットの配合剤1剤の併用療法である。

図10. 組合No.8

オデフシ単剤例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



※ HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

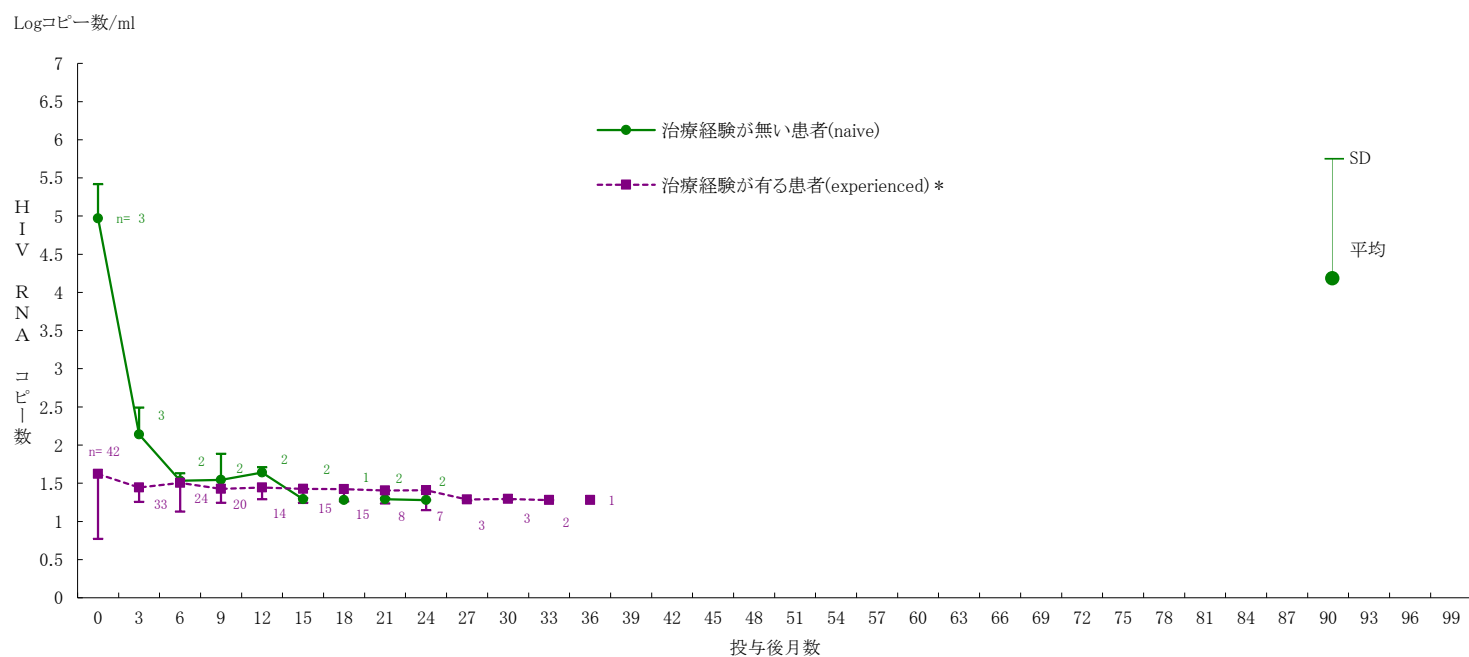
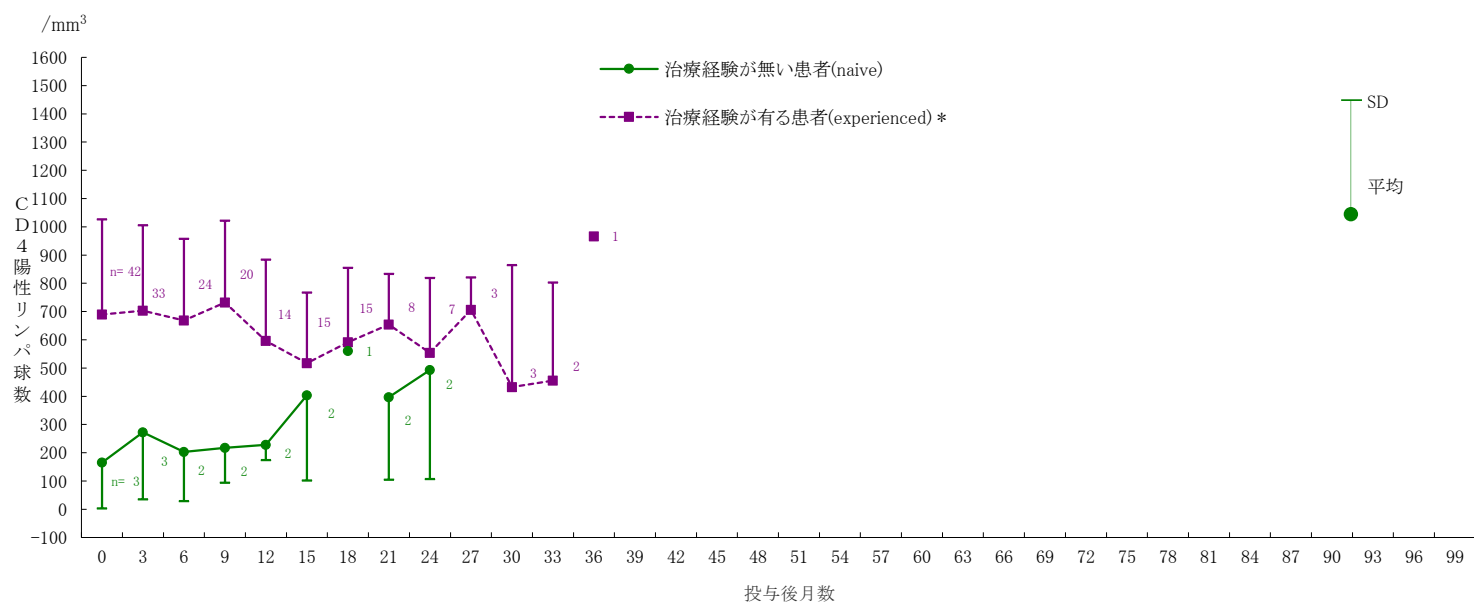
HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

○ 2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤の単剤療法である。

図11. 組合No.9

デシコビ+ピフェルトロ併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



※ HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

○ 2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤1剤の併用療法である。

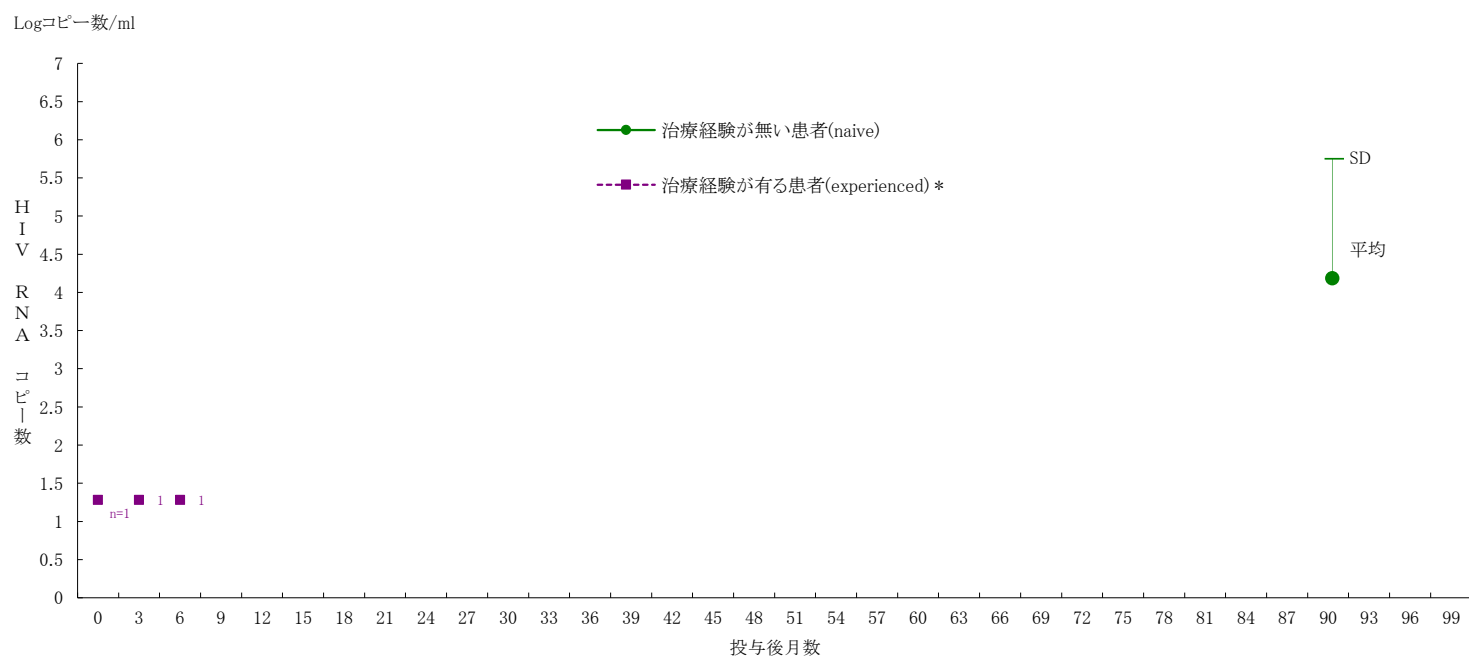
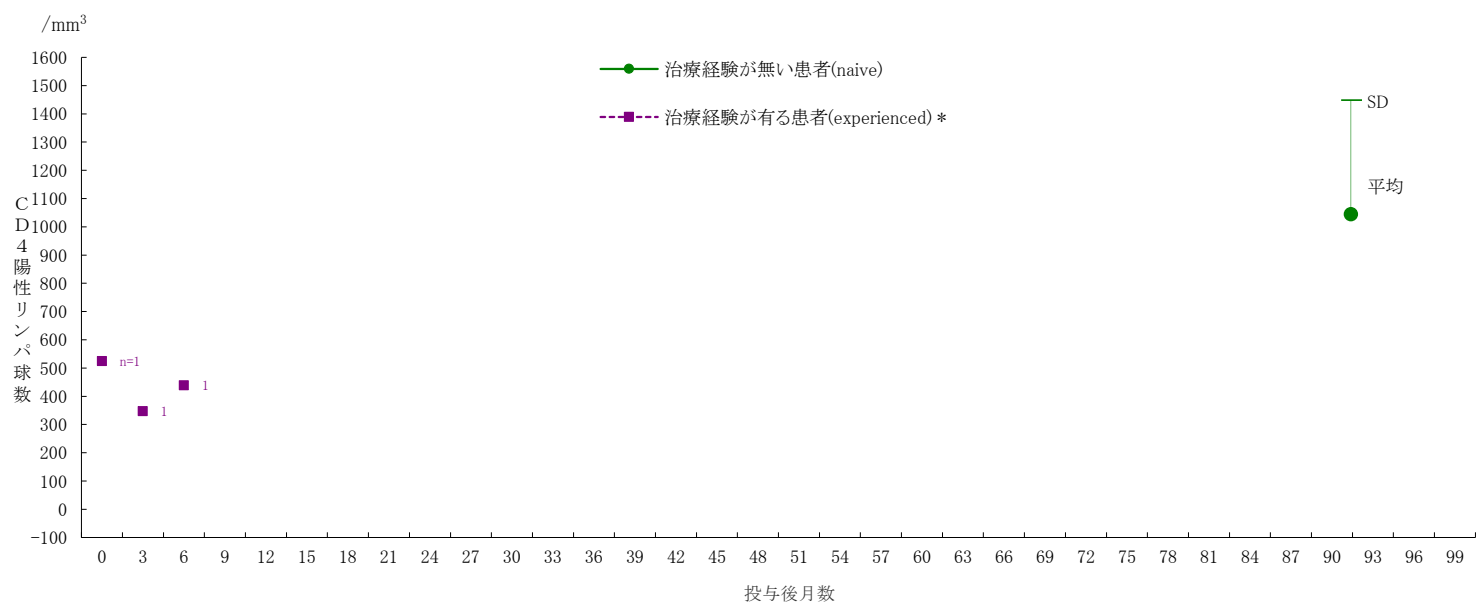
図12. 組合No.10

エジュラント+ボカブリア併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移

該当症例なし

図13. 組合No.13

リカムビス+ボカブリア併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



※ HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

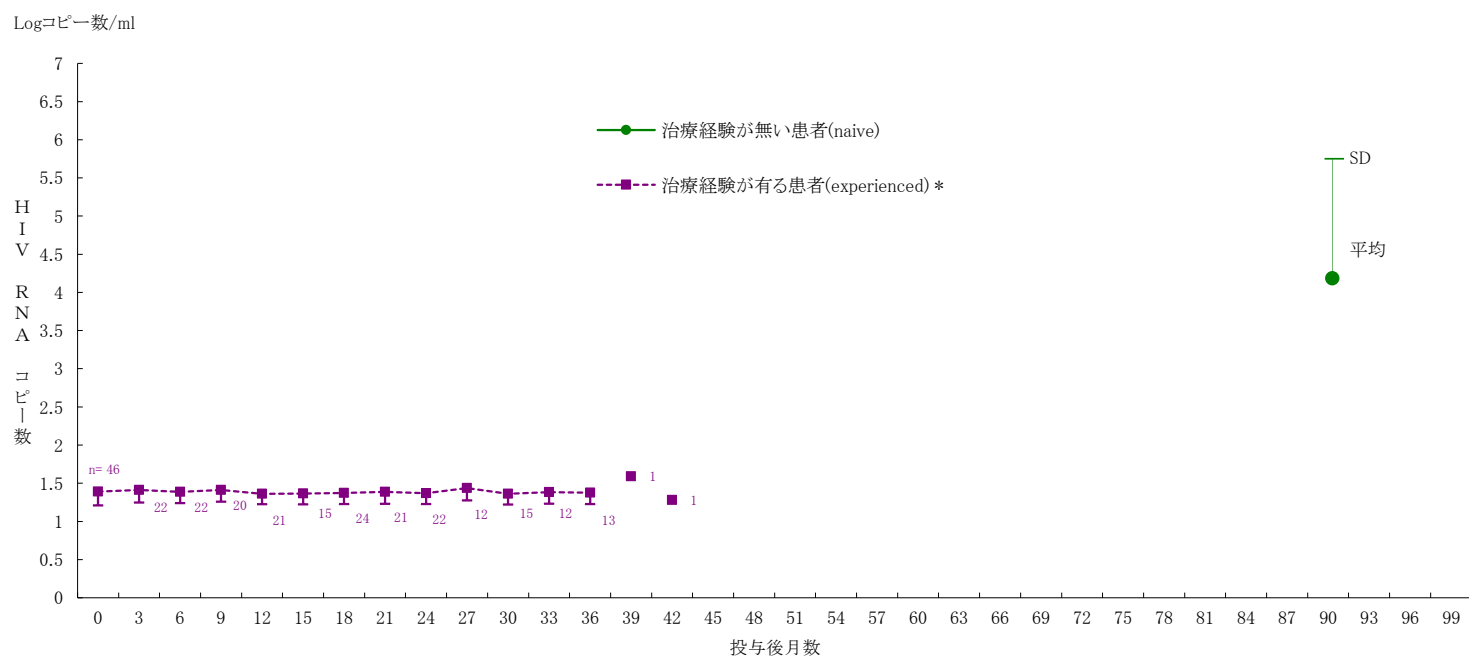
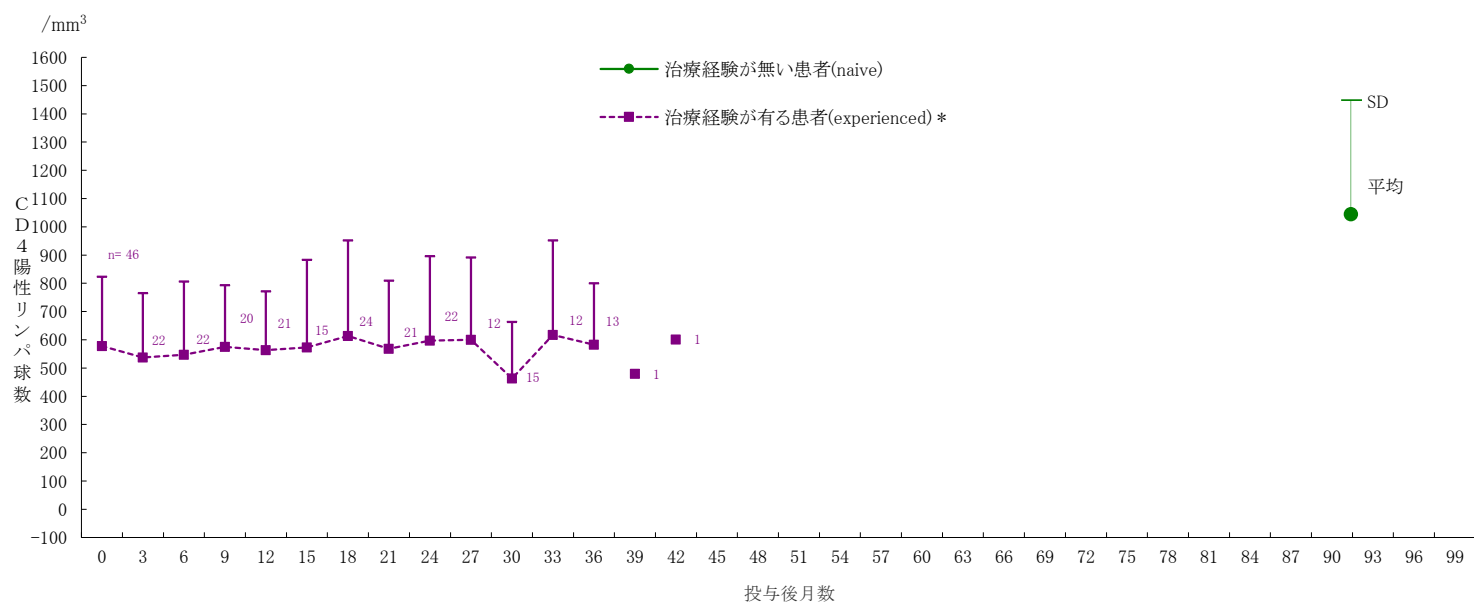
HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

○ 非核酸系逆転写酵素阻害剤1剤とインテグラーゼ阻害剤1剤の併用療法である。

図14. 組合No.15

ジェラルカ単剤例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



※ HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

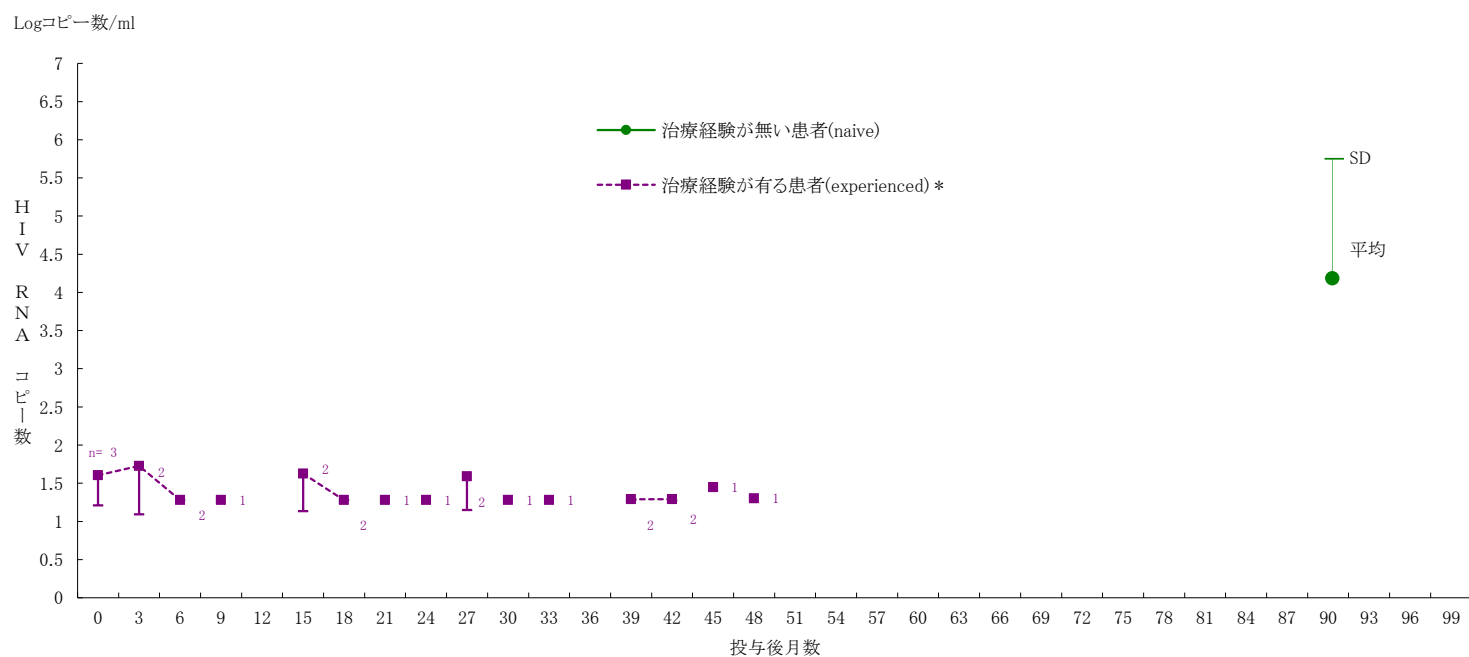
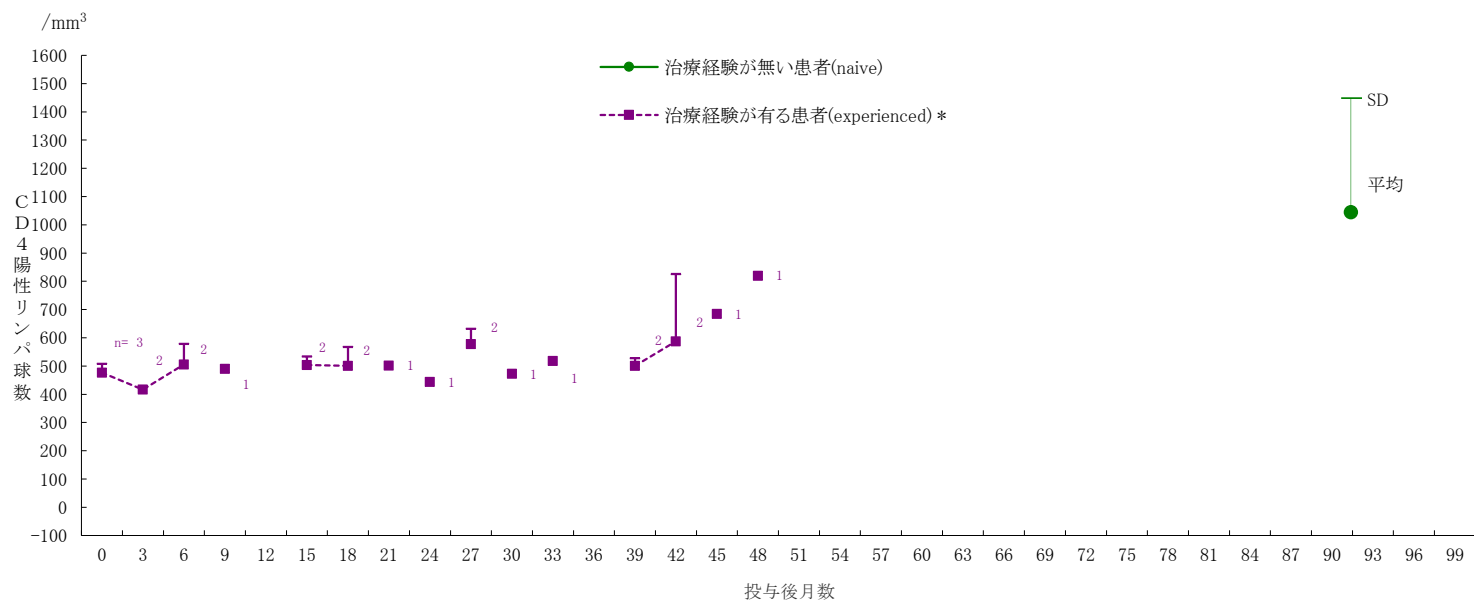
HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

○ 2種類の非核酸系逆転写酵素阻害剤とインテグラーゼ阻害剤の配合剤1剤の単剤療法である。

図15. 組合No.24

デシコビ+プレジコビックス+アイセントレス600併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



※ HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

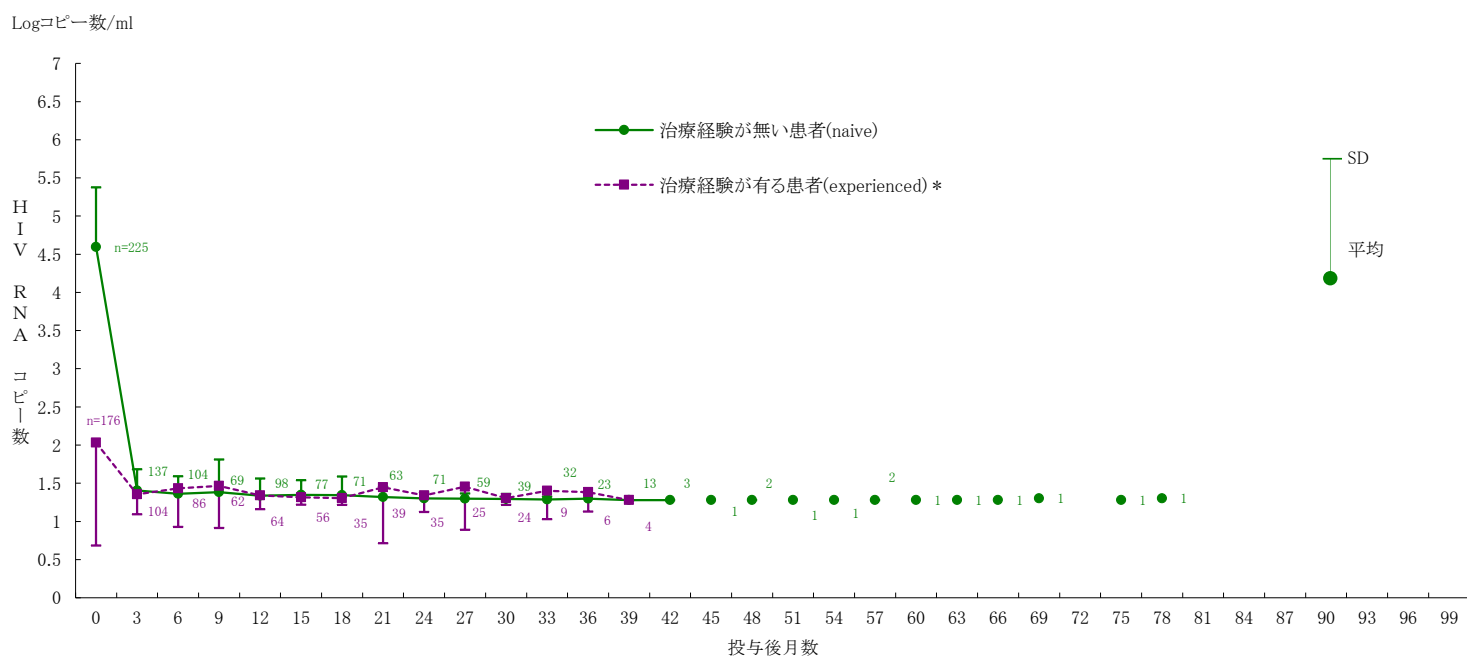
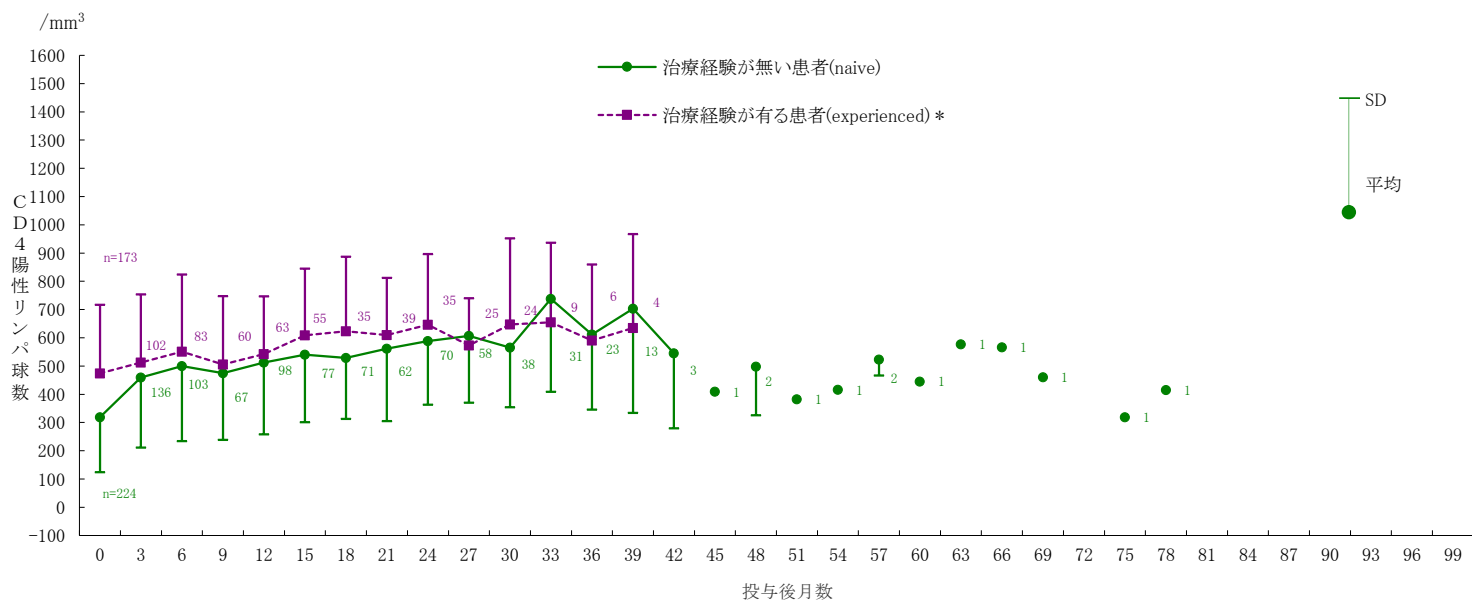
HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

○ 2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤とプロテアーゼ阻害剤とコビスタットの配合剤1剤とインテグラーゼ阻害剤1剤の併用療法である。

図16. 組合No.16

スタリビルド単剤例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



※ HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

○ 2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤とインテグラーゼ阻害剤とコビスタットの配合剤1剤の単剤療法である。

HRD共同調査協議会

ヴィーブヘルスケア株式会社

MSD 株式会社

ギリアド・サイエンシズ株式会社

ヤンセンファーマ株式会社

HRD 共同調査協議会のホームページ

<https://www.hrd.gr.jp/>